

# 平成16年度第2回福岡空港調査連絡調整会議

## 配付資料一覧

次第

配席図

出席者名簿

資料1

福岡空港調査PI有識者委員会(仮称)委員について

資料2

福岡空港調査PI実施計画(ステップ1)素案

資料3

福岡空港調査PI実施計画(ステップ1)素案についての意見募集について

資料4

福岡空港の総合的な調査 平成16年度の実施内容(変更案)

資料5

福岡空港の総合的な調査 平成17年度の調査の方向性(案)

# 平成16年度第2回福岡空港調査連絡調整会議 次 第

日時 平成16年11月4日(木)  
12:30~14:00  
場所 福岡国際会議場  
4階 409会議室

## 1. 開会

## 2. 議事

### (1) 福岡空港の総合的な調査に係る情報提供及び意見収集について

福岡空港調査P I有識者委員会(仮称)委員について

福岡空港調査P I実施計画(ステップ1)素案について

福岡空港調査P I実施計画(ステップ1)素案についての意見募集に  
ついて

### (2) 福岡空港の総合的な調査について

平成16年度の実施内容(変更案)について

平成17年度の調査の方向性(案)について

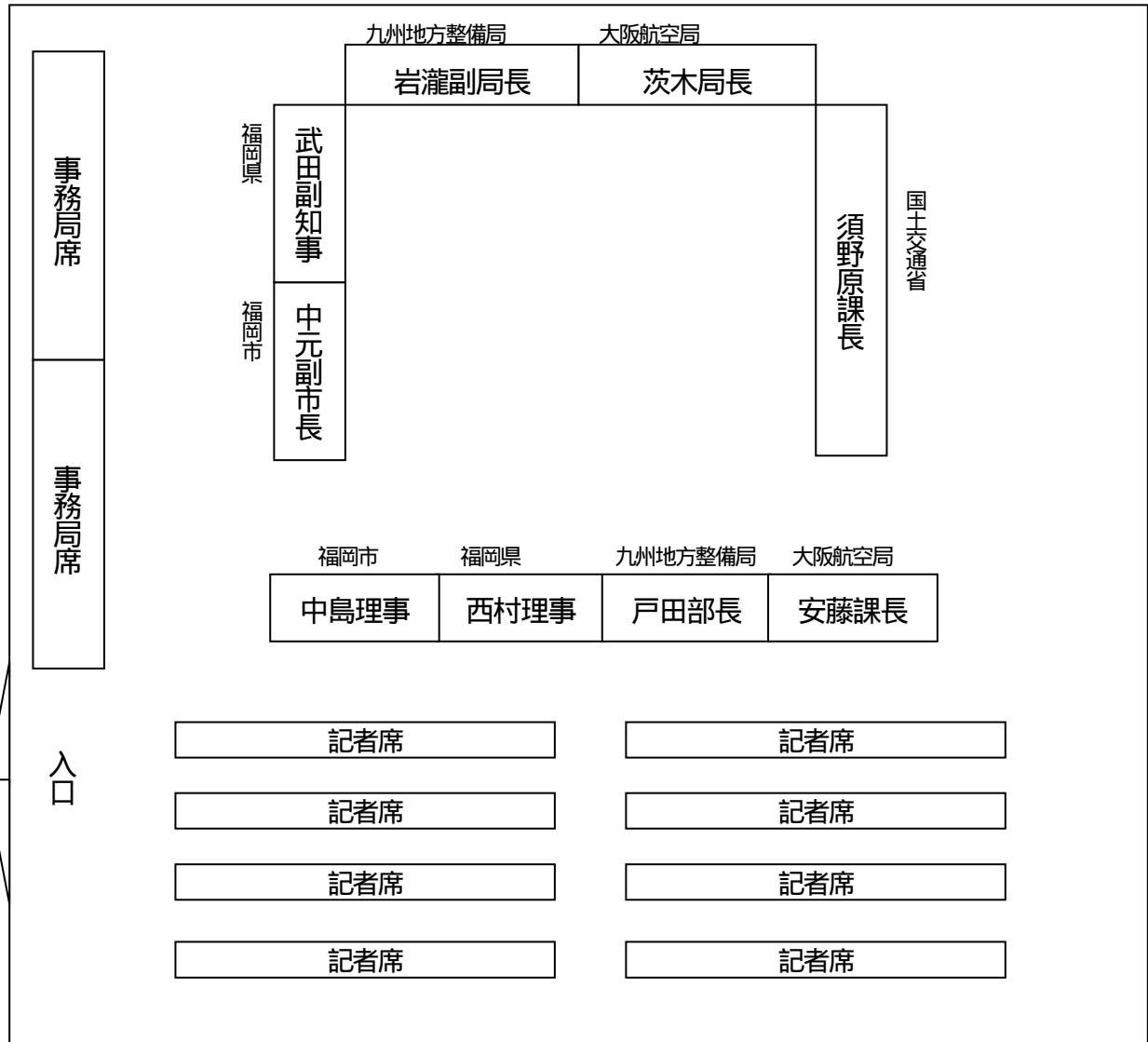
### (3) その他

## 3. 閉会

# 平成16年度 第2回福岡空港調査連絡調整会議 配席図

日時 平成16年11月4日(木) 12:30~

場所 福岡国際会議場 4階 409会議室



# 平成16年度第2回福岡空港調査連絡調整会議 出席者名簿

## ・ 構成員

国土交通省九州地方整備局長	おかやま かずお 岡山 和生
(代理出席 九州地方整備局副局長)	いわたき きよはる 岩瀧 清治)
国土交通省大阪航空局長	いばらき やすお 茨木 康男
福岡県副知事	たけだ ふみお 武田 文男
福岡市副市長	なかもと ひろとし 中元 弘利

## ・ 幹事

国土交通省九州地方整備局港湾空港部長	とだ かずひこ 戸田 和彦
国土交通省大阪航空局飛行場部長	まつもと せいじ 松本 清次
(代理出席 飛行場部空港整備調整課長)	あんどう ひさみ 安藤 久美)
福岡県企画振興部理事兼空港対策局長	にしむら のりあき 西村 典明
福岡市総務企画局理事	なかしま つぎお 中島 紹男

## ・ 国土交通省航空局飛行場部からの参加

国土交通省航空局飛行場部計画課長	すのほら ゆたか 須野原 豊
------------------	-------------------

## 福岡空港調査 P I 有識者委員会（仮称）委員について

平成 16 年度福岡空港調査連絡調整会議幹事会（第 2 回）において設置が承認された福岡空港調査 P I 有識者委員会（仮称）について、選定の視点を踏まえ、選定に係る事項等を考慮し、委員の候補者を以下のとおり選定した。

（委員候補者及び選定に係る事項）

分野	候補者	選定視点	選定に係る事項
・ P I に関する有識者	氏名 石田東生 職業 筑波大学社会学系教授 (専門)都市交通計画、交通行動分析	・ 交通計画分野での P I の理論、事例、実践に専門的知識、知見を有する有識者	「国土交通省航空局空港整備プロセス研究会」委員 P I のガイドライン案含む検討 「東京外かく環状道路有識者委員会」委員 「福岡空港の総合的な調査に係る情報提供及び意見収集のあり方検討会」座長
・ 空港計画に関する有識者	氏名 竹林幹雄 職業 神戸大学工学部建設学科土木系助教授 (専門)空港計画、航空輸送市場分析	・ 空港を含む交通計画等に関して専門的知識、知見を有する有識者	「神戸空港需要検討委員会」委員 「国土交通省航空局需要予測改善手法勉強会」メンバー
・ 法制度・行政手続きに関する有識者	氏名 山本智子 職業 弁護士	・ 地域に活動拠点を置き、地域の情報公開条例、情報公開の状況等に知見を有する有識者 ・ 福岡県弁護士会からの推薦者	福岡県弁護士会からの推薦 「福岡県情報公開審査会」前委員 「福岡空港の総合的な調査に係る情報提供及び意見収集のあり方検討会」委員
・ マスコミ・ジャーナリズムに関する有識者	氏名 杉尾政博 職業 西日本新聞社特別顧問	・ 地域に活動拠点を置き、地域でのジャーナリズム活動を通して情報提供の手法や市民等とのコミュニケーションに関し、専門的知識、知見を有する有識者	西日本新聞社に昭和 36 年入社、編集局経済部長、経営企画委員長、取締役、常務、専務を歴任
・ 事業、経営に関する有識者	氏名 土井良延英 職業 公認会計士	・ 地域に活動拠点を置き、事業の効率性など企業マネジメントに関し知見を有する有識者 ・ 日本公認会計士協会北部九州会からの推薦者	日本公認会計士協会北部九州会からの推薦 前日本公認会計士協会北部九州会副会長

(平成16年9月15日福岡空港調査連絡調整会議幹事会資料)

## 福岡空港調査 P I 有識者委員会 (仮称) の設置について

### 1 目的

福岡空港の総合的な調査における P I プロセスの手続きの透明性、客観性、公正性を確保をするため、公正・中立な立場から、P I 実施主体 (福岡空港調査連絡調整会議) が行う P I のプロセスについて監視、評価、助言する機関として設置する。

### 2 所掌事項

福岡空港調査 P I 計画を踏まえ、以下の事項とする。

- ・ P I 実施計画に関する審議、評価、助言
- ・ P I 実施期間中の監視、助言
- ・ P I の結果に関する審議、評価、助言 等を行う。

これらの助言等は、P I 実施主体である福岡空港調査連絡調整会議に対して行う。

### 3 構成

- ・ 委員会は、目的の達成に必要な専門的知識等を有し、福岡空港の対応策について中立的、客観的な立場を有する有識者をもって構成する。
- ・ 委員の構成及び選定方法 . . . . . 別紙のとおり

### 4 その他

- ・ 委員会は、福岡空港の総合的な調査に係る検討の全ステップに対応した P I が終了するまでとする。
- ・ 事務局は、福岡空港調査連絡調整会議事務局とは別に設置する。

## 福岡空港調査 P I 有識者委員会（仮称）委員の選定方法（案）

委員は、有識者委員会の所掌事項、責務の性質等を勘案し、以下の考え方に沿って選任することとし、また、可能な限り専門分野に関する団体から推薦を受けるなど、選出の過程の透明性を確保することとする。

なお、委員の選定の過程、選定理由については、ホームページ等により公表するものとする。

### (1) 基本的な事項

P I プロセスを客観的な立場から監視するという委員会の目的及び性格等から、福岡空港の対応策等について中立的、客観的な立場を有されていること。

特定の行政機関及び特定の利害関係者又は利害団体の意見を代表していないこと。

一定期間に集中すると予想される P I プロセスの監視、助言等を行うための実態把握、会議等に従事することが可能であること。また、任期を全うすることが可能であること。

福岡空港の総合的な調査における P I の意義、目的について理解・賛同していること

### (2) 個別的な事項（専門性等）

- ・ P I に関する有識者
  - … ・ 交通計画分野における P I、欧米における事例、手法等に精通するとともに、P I に携わる等の経験を有されている有識者。
- ・ 空港計画に関する有識者
  - … ・ P I プロセスで提供される情報は、空港に関する調査情報であるため、空港をはじめとする交通計画全般に精通されている有識者。
- ・ 法制度・行政手続きに関する有識者
  - … ・ P I プロセスの手続きの妥当性、情報公開に関する法及び視点からの評価、点検を行うために重要な地域の情報公開条例、情報公開の状況等に知見を有されている有識者。
  - ・ 地域に活動拠点を置かれている方で、弁護士会等関係団体からの推薦を受けられた有識者。
- ・ マスコミ・ジャーナリズムに関する有識者
  - … ・ P I 手法、コミュニケーションのあり方の適切性等の評価、点検を行うために重要な情報提供の手法等、市民等とのコミュニケーションに関し、地域特性を踏まえた知見を有されている有識者。
- ・ 事業、経営に関する有識者
  - … ・ P I が効率的に行われているか等の評価、点検を行うために重要な事業運営などマネジメントについての知見を有されている有識者。
  - ・ 地域に活動拠点を有されている方で、公認会計士協会等関係団体からの推薦を受けられた有識者。

## 福岡空港調査 P I 有識者委員会（仮称）委員候補者のプロフィール

<p>いしだ はるお 石田 東生</p> <p>（筑波大学社会工学系教授）</p>	<p>昭和 5 1 年、東京大学大学院工学系研究科修士過程を修了。平成 8 年より現職。工学博士。 専門分野は、都市交通計画、交通行動分析。「国土交通省航空局空港整備プロセス研究会」委員、「福岡空港の総合的な調査に係る情報提供と意見収集のあり方検討会」座長。</p>
<p>たけばやし みきお 竹林 幹雄</p> <p>（神戸大学工学部助教授）</p>	<p>平成 3 年、京都大学工学研究科土木工学専攻修士課程を修了。平成 1 3 年より現職。工学博士。 専門分野は、国土計画、航空輸送市場分析、空港計画、港湾計画、建設マネジメント。神戸空港需要検討委員会委員、国土交通省需要予測改善手法勉強会メンバー。</p>
<p>やまもと ともこ 山本 智子</p> <p>（弁護士）</p>	<p>昭和 5 1 年、早稲田大学法学部卒業。 平成 7 年山本法律事務所設立。 福岡県情報公開審査会前委員、福岡市都市計画審議会委員、福岡市景観審議会委員。「福岡空港の総合的な調査に係る情報提供と意見収集のあり方検討会」委員。</p>
<p>すぎお まさひろ 杉尾 政博</p> <p>（西日本新聞社特別顧問）</p>	<p>昭和 3 6 年、埼玉大学文理学部卒業。 同年西日本新聞社入社、編集局経済部長、経営企画委員長、取締役、常務を経て、平成 1 1 年に同社専務。 平成 1 5 年より現職。</p>
<p>どいら のぶひで 土井良 延英</p> <p>（公認会計士）</p>	<p>昭和 4 8 年、神戸大学経済学部卒業。 監査法人トーマツ代表社員、福岡事務所地区代表社員、エグゼクティブマネジメントグループメンバー（人材育成担当）。 前日本公認会計士協会北部九州会副会長。</p>



## 福岡空港調査PI実施計画(ステップ1)素案

平成16年11月

福岡空港調査連絡調整会議

## - 目 次 -

### はじめに

#### 福岡空港調査PI実施計画(ステップ1)の策定に当たって

- 1 「福岡空港の総合的な調査に係る情報提供及び意見収集のあり方」(PI計画)  
について \_\_\_\_\_ 1
- 2 PI実施計画策定に当たっての基本方針 \_\_\_\_\_ 6

#### 福岡空港調査PI実施計画(ステップ1)

- 1 対象とするステップと内容 \_\_\_\_\_ 8
- 2 実施時期及び期間 \_\_\_\_\_ 9
- 3 提供する情報内容 \_\_\_\_\_ 10
- 4 情報提供および意見収集の方法(P I手法) \_\_\_\_\_ 11
- 5 収集した意見の取扱い \_\_\_\_\_ 13
- 6 P Iの終了 \_\_\_\_\_ 14
- 7 実施計画の策定手順 \_\_\_\_\_ 17

- < 参考 >
- 1 福岡空港の総合的な調査の概要
  - 2 P I手法の概要
  - 3 第三者機関(福岡空港調査P I有識者委員会(仮称))資料

## はじめに

福岡空港については、平成14年12月に国土交通省交通政策審議会航空分科会の答申において、「既存ストックの有効活用方策」、「近隣空港との連携方策」、「中長期的な観点からの新空港、滑走路増設等を含めた抜本的な空港能力向上方策」等について、幅広い合意形成を図りつつ、国と地域が連携し、総合的な調査を進める必要があると位置づけられ、国と地域（福岡県、福岡市）において平成15年度から連携・協力してこの総合的な調査を進めているところです。福岡空港の市民生活に果たす役割の大きさを考えると、調査に当たっては、空港利用者も含めた幅広い市民等に対し、積極的に情報を提供するとともに、広く意見を収集・反映していくなど透明性を確保し、市民等と情報や多様な認識を共有して進めていくことが重要であることから、福岡空港調査連絡調整会議では、市民等に情報を提供し、幅広く意見を収集し、検討に反映していく「パブリック・インボルブメント（P I）」を導入することとし、「福岡空港の総合的な調査に係る情報提供及び意見収集のあり方」（P I計画）を平成16年6月に決定し公表しました。

今回、このP I計画に基づき、検討の第1ステップ「課題と実現すべき政策的目標」についてのP Iを平成17年度に実施するため、そのアウトラインを明らかにした福岡空港調査P I実施計画（ステップ1）素案を作成しました。

今後、この（案）について、幅広くみなさんのご意見を頂いた上で、成案とし、第三者機関（福岡空港調査P I有識者委員会（仮称））に対して送付し、その点検、評価を経て確定することとしております。たくさんのご意見をお寄せ頂きますようお願いいたします。

平成16年11月

福岡空港調査連絡調整会議

## 福岡空港調査PI実施計画(ステップ1)の策定に当たって

### 1 「福岡空港の総合的な調査に係る情報提供及び意見収集のあり方」(PI計画)について

福岡空港調査PI実施計画は、「福岡空港の総合的な調査に係る情報提供及び意見収集のあり方」(以後PI計画という)に基づき、具体的なPIの方法等を明らかにするための計画です。

福岡空港調査PI実施計画は、PI計画で示した検討のステップ毎に作成します。

PI計画(平成16年6月策定)は、福岡空港の将来の混雑問題などについて調査する「総合的な調査」に当たって、パブリック・インボルブメント(PI)の手法を導入し、みなさんの意見を検討に反映していくための基本的な考え方を示したものです。その内容について以下に概説します。

#### (1) 福岡空港の総合的な調査

福岡空港の総合的な調査は、

**既存ストックの有効活用方策**

**近隣空港との連携方策**

**中長期的な観点からの新空港、滑走路増設等を含めた抜本的な空港能力向上方策**

などの調査を通じ、考えられる様々な対応方策の中から、今後講ずべき施策の組合せ等の選択肢を示す方向性(案)を作成するものです。

これは、多様な対応方策の選択肢について、地域のニーズ等を踏まえて、幅広く調査・検討するものであり、候補地を選定する構想段階や事業実施の前提となる計画を決める施設計画段階以前の「調査段階」に位置付けられます。

#### (2) 総合的な調査の実施に当たっての基本方針

総合的な調査の実施に当たっては、

- ・福岡空港の重要性、影響範囲の大きさ・多面性。
- ・これまでの取り組みにおける市民等とのコミュニケーションの不足。
- ・公共事業全般に求められている透明性の確保と説明責任の遂行。

などから、関係行政機関が政策の方向性の形成・決定を行うに当たっては、その過程で市民等と情報の共有を図りつつ、意見を十分に収集し反映していくことが重要です。

##### (基本方針)

**情報公開にとどまらない積極的な情報提供の実施。**

**市民等との多重多層のコミュニケーションに基づき、市民等に関かれた進め方での調査検討の実施。**

**市民等のニーズ・意見を収集し、総合的な調査に適切に反映できる手法の導入。**

### (3) 総合的な調査に係る P I について

#### PI の基本的な考え方

全体の進め方を明確にし、市民等と共有。

基本的なところから段階を踏んだ検討とそれに連動した P I の実施。

市民等にとってわかりやすく、公正さを担保できる体制の確保。

#### 方向性(案)検討のステップと検討のステップに連動した P I の実施

- ・ 福岡空港の総合的な調査においては、その内容等を踏まえ、「課題と実現すべき政策的目標」「対応策検討の前提条件」「評価の視点と検討すべき対応案」「対応案の比較評価と方向性(案)」の4つのステップで検討します。
- ・ P I は、検討の各ステップに対応して実施し、市民等のみなさんの意見を検討に反映します。

4つのステップを踏んで検討を進め、方向性(案)を作成します。

##### STEP 1 課題と実現すべき政策的目標



- ・ 福岡空港の現状と課題、空港能力の見極め、空港利用者の視点に立った航空サービスの評価基準等について検討します。

##### STEP 2 対応策検討の前提条件



- ・ 航空需要の将来予測、地域の将来像と福岡空港の役割について検討します。

##### STEP 3 評価の視点と検討すべき対応案



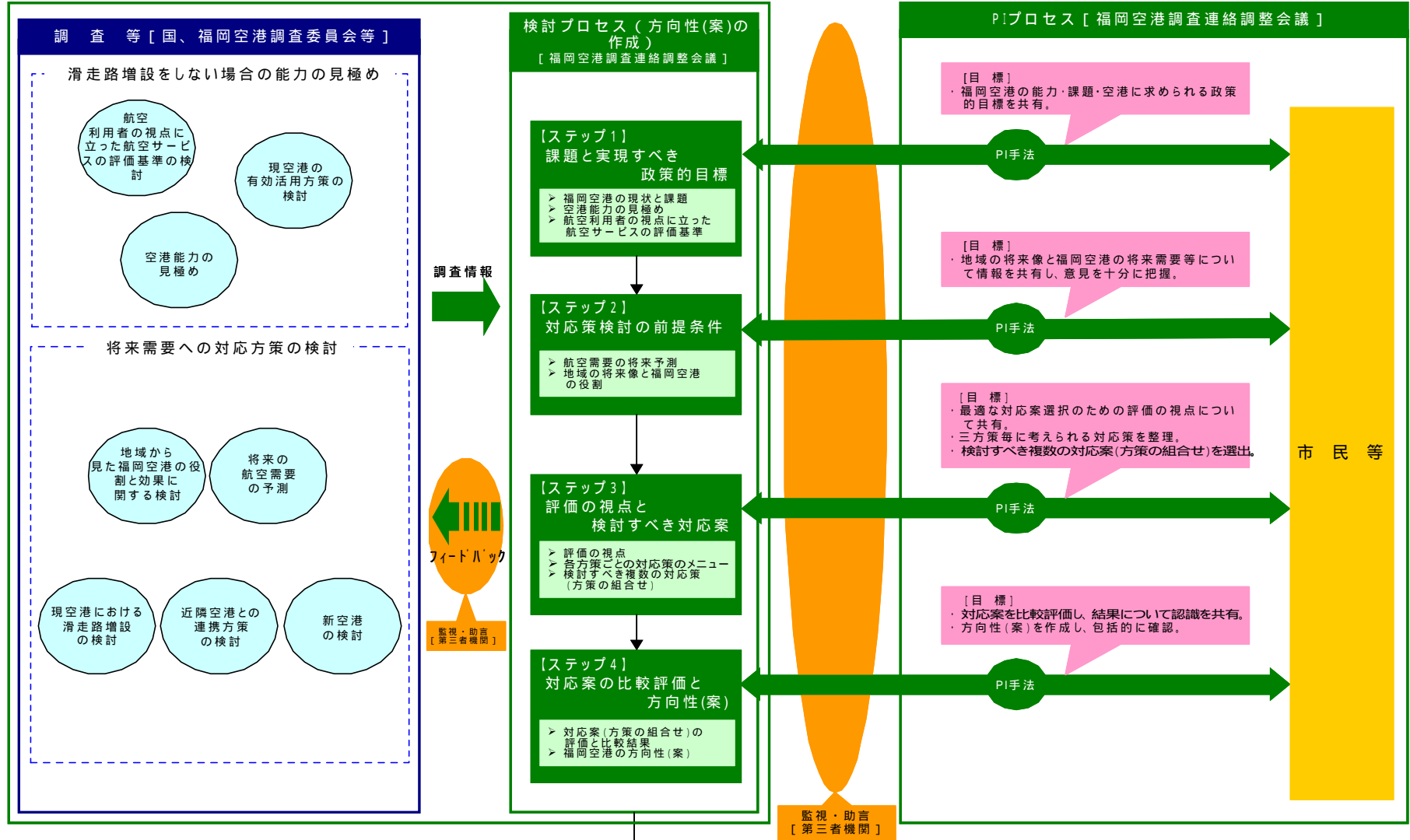
- ・ 検討すべき対応案と対応案を評価する視点を検討します。

##### STEP 4 対応案の比較評価と方向性(案)

- ・ 評価の視点に基づく対応案の比較評価と方向性(案)を作成します。

図 方向性(案)検討の4つのステップ

総合的な調査の開始



政策形成プロセス [ 関係行政機関 ]

方向性(案)の絞り込み 政策的視点、技術的視点、民意の3つの視点を総合的に判断。

所定の手続きによる方向性の決定

## 実施体制

PIにかかると実施体制は、PIを実施する機能、方向性（案）を作成する機能、PIを監視し、助言を行う機能、各種調査を実施する機能の4つにより構成されます。

- ・ このうち、「PIを実施する機能」、「方向性（案）を作成する機能」は、福岡空港調査連絡調整会議が担うものとします。
- ・ 「PIを監視し、助言を行う機能」を担う第三者機関（福岡空港調査PI有識者委員会（仮称））を設置します。

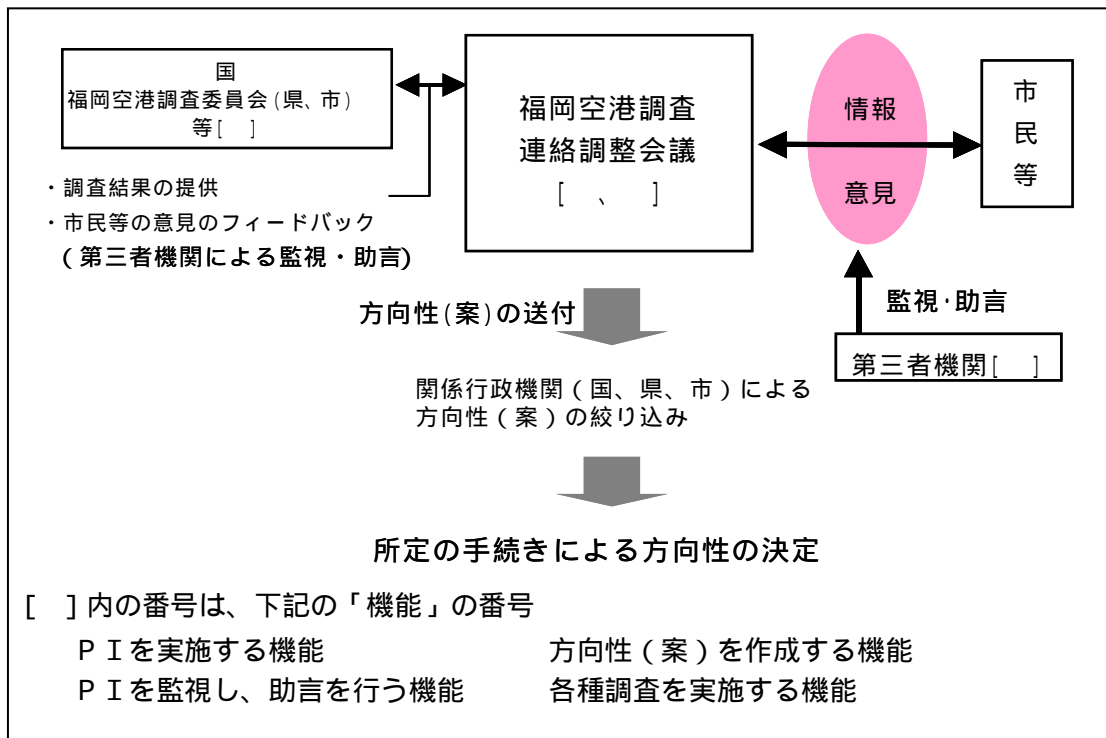


図 実施体制

## PI手法

- ・ 各ステップでの検討内容にあわせて、多様かつ適切な手法により市民等との多重多層のコミュニケーションを実施します。
- ・ PIの手法は、状況に応じて見直すなど柔軟に対応します。

## 情報提供

福岡空港調査連絡調整会議が情報を提供する際には、

- ・ PI活動において各ステップに合わせて提供される情報については、市民等にわかりやすく取りまとめて提供します。
- ・ その検討材料となる情報については、PI活動で提供される情報との区別、検討中であるなどといった情報の性格と位置付けを明確にした上で提供します。

## 6) P I 計画の策定の経緯

- ・ P I 計画の取りまとめに当たって、幅広い市民等の意見を反映することが必要と考え、平成15年11月に計画のとりまとめの方針・方向性を示した「福岡空港の総合的な調査に係る情報提供及び意見収集のあり方の検討に当たっての基本的な考え方」を公表し、意見を募集しました。
- ・ また、その上で、(案)を作成し、平成16年4月には、インターネットでの公表、小冊子の配布等、幅広く周知広報を実施し、パブリック・コメント(平成16年4月12日～5月12日：ご意見191件)を実施しました。

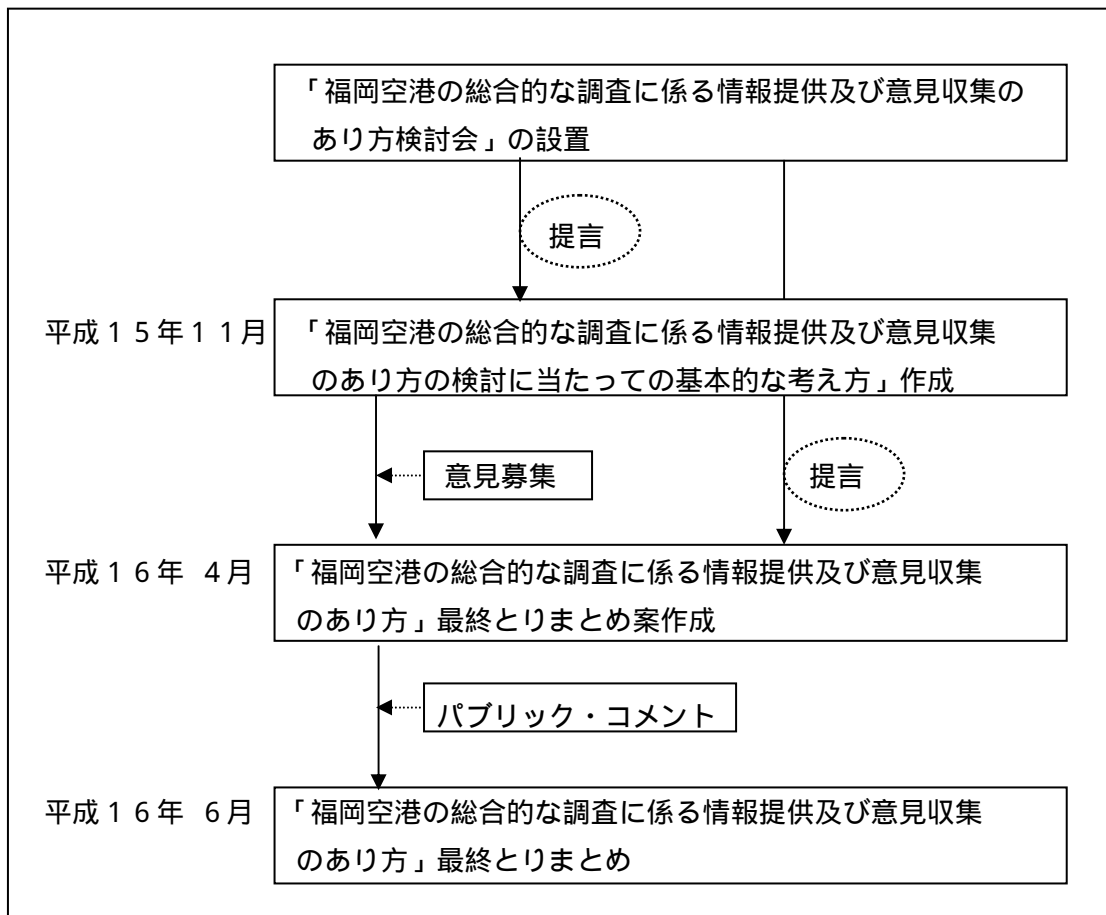


図 P I 計画策定・公表の経緯



## 2 福岡空港調査 P I 実施計画策定に当たっての基本方針

十分な周知広報を実施します。  
多様で適切な P I 手法を選定します。  
わかりやすい情報の提供を実施し、収集した意見とそれに対する考え方を公表します。  
中立・公正な P I を実施します。

### (1) 十分な周知広報の実施

- ・ P I の実施に当たっては、福岡空港の重要性、影響範囲の大きさ等から幅広く意見を収集することが必要です。
- ・ このため、P I の実施について十分な周知広報に努めます。

### (2) 多様で適切な P I 手法の選定

P I 手法については、

- ・ P I 参加者の特性やニーズを踏まえて参加しやすい方法
  - ・ 各ステップの検討内容、P I の目標に合わせた多様で適切な情報提供と意見収集の手法
- を選定します。また、P I の実施状況等により見直すなど柔軟に対応します。

### (3) 分かりやすい情報提供と意見等の公表

- ・ 各ステップで提供する情報は、その元となる調査が多種多様に及ぶため、福岡空港調査連絡調整会議において市民等に分かりやすく取りまとめて提供します。
- ・ 取りまとめの元となった調査等情報についても、他の調査等情報と区分して、公表します。
- ・ 収集した意見については、個人が特定できる情報を除いて、とりまとめて公表します。また、意見収集の状況を勘案しつつ、当該ステップの内容に照らしてどのように対応するかなど、P I 実施主体としての考え方、方針等を取りまとめて公表します。

### (4) 中立・公正な P I の実施

- ・ P I の実施に関し、「P I の開始時」「P I 実施期間内」「P I の終了時」など、P I のプロセスにおいて第三者機関（福岡空港調査 P I 有識者委員会（仮称））の監視、評価、助言を受けます。
- ・ 第三者機関（福岡空港調査 P I 有識者委員会（仮称））の評価や助言等については、誠実に対応します。また、この助言や評価結果についてもホームページ等で公表します。

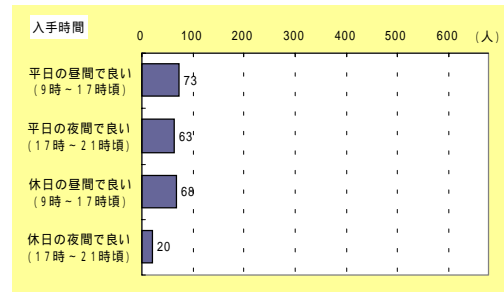
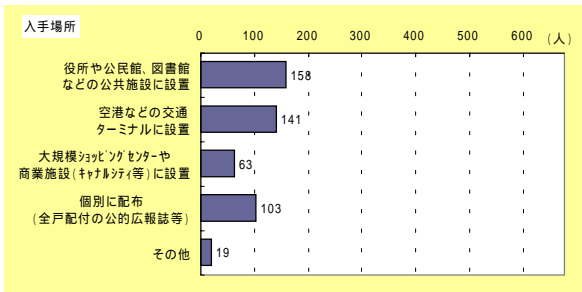
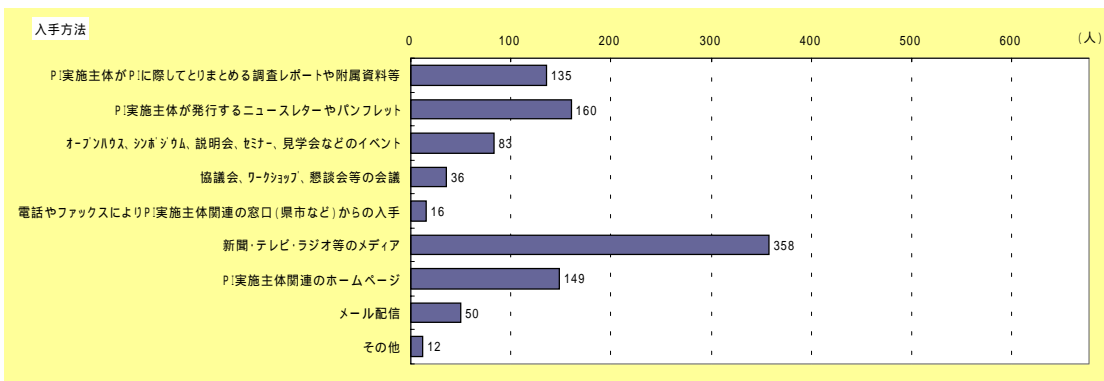
表 P Iに関するアンケート結果

「福岡空港の総合的調査に係る P I 実施計画」作成にあたっての意見収集アンケート概要

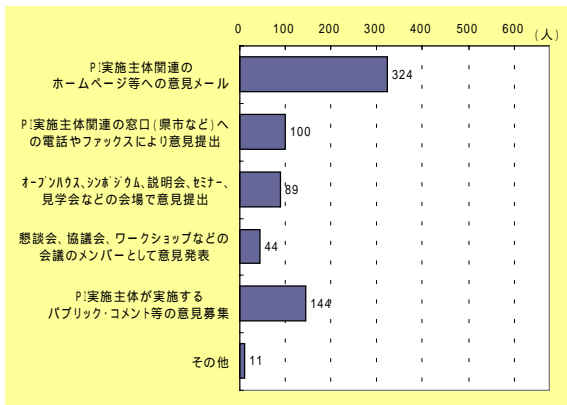
実施期間	2004年9月29日～10月18日（Web20日）
配布方法	郵送、空港・駅等での配布、県市情報提供窓口、市町村への配布、福岡空港連絡調整会議関係機関 HP による Web アンケート等
回収方法	郵送、Web、街頭聞き取り、ファックス
回収数	677

アンケートの集計結果（P I 実施関係）

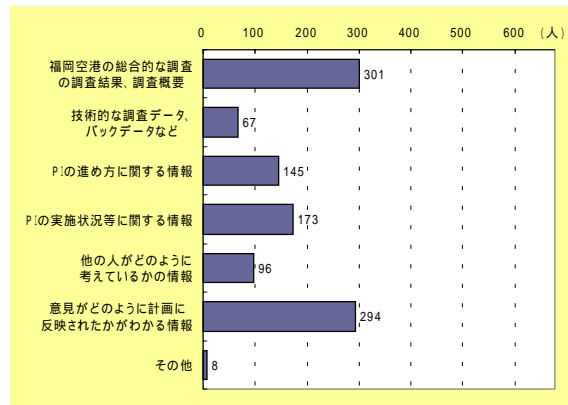
情報の入手方法や場所について（Q5）



意見の提出方法について（Q6）



P Iを通じて知りたい情報内容について（Q7）



# 福岡空港調査PI実施計画(ステップ1)

## 1 対象とするステップと目標

本実施計画は、検討のステップ1の「課題と実現すべき政策的目標」を対象とします。

ステップ1では、福岡空港の能力・課題・空港に求められる政策的目標を共有することを目標とします。

- ・ このPIは、検討の4つのステップのうちの第1番目「課題と実現すべき政策的目標」を対象として実施します。
- ・ ステップ1は、福岡空港の現状や課題、空港能力の見極め、空港利用者の視点に立った航空サービスの評価基準等の今後の検討の基本的な事項を市民等と共有することを目標とします。

### (想定する論点)

- ・ 課題は十分出揃っているか、漏れている点はないか。
- ・ 課題の内容が理解できるものであり、間違いはないか。
- ・ 実現すべき政策的目標は理解できるものであるか。

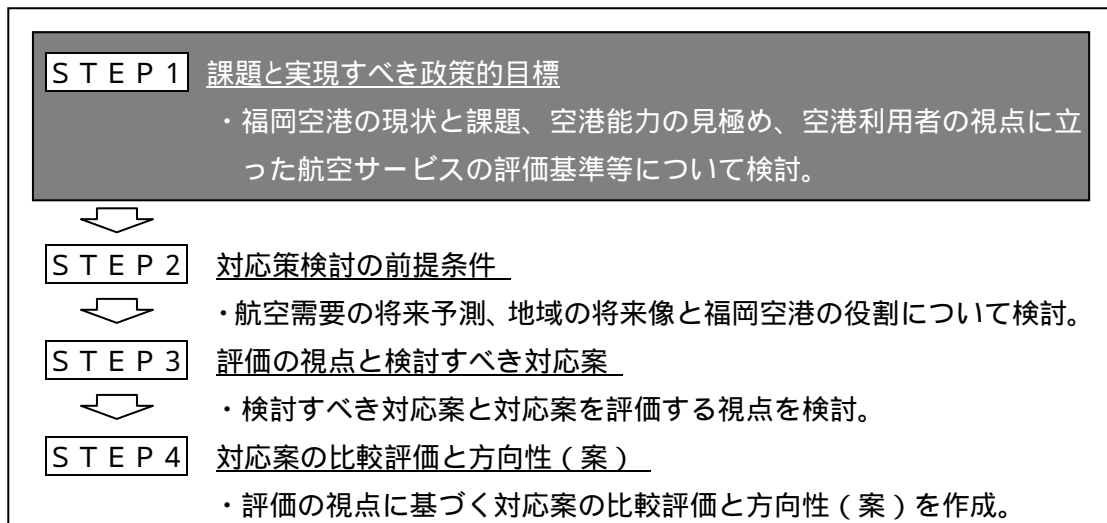


図 対象とするステップ

## 2 実施時期および期間

ステップ1のPI活動は、平成17年度に実施します。  
PIの実施期間は、概ね3ヶ月程度を目安とします。

### (1) 実施時期

- ・ ステップ1のPI活動は、調査等情報が整理され、準備が整い次第、平成17年度の早い段階で実施します。
- ・ 具体的な開始時期等については、準備状況等を総合的に勘案し、福岡空港調査連絡調整会議において決定し公表します。

### (2) 実施期間

- ・ たくさんのご意見を頂くためには、市民等の関心と参加が得やすいよう一定期間に高い密度の情報提供等を集中的に実施することが必要であること等から、3ヶ月程度を目安として実施します。
- ・ 開始時期は、福岡空港調査連絡調整会議が決定した始期を目安とします。また、終了時期は、情報提供、意見収集、意見の反映の過程を経て第三者機関の評価を得るまでをいいます。

### 3 提供する情報内容

福岡空港の現状や課題、空港能力の見極め、空港利用者の視点に立った航空サービスの評価基準などの今後の検討の共通のベースとなる基本的な事項について提供します。

これら情報は、PI実施主体（福岡空港調査連絡調整会議）において「課題と実現すべき政策的目標」のPIレポートとして取りまとめ、わかりやすい形で市民等の皆さんに提供します。

レポートのもとになった調査等情報についても公表します。

- ・ ステップ1のPIでは、今後の検討の共通のベースとなる基本的な事項である「福岡空港の利用の状況や問題、課題」「航空を取り巻く情勢」などについてお知らせするとともに、「航空サービスの考え方」や「福岡空港の能力」などの検討情報を提供します。
- ・ 提供する情報は、「福岡空港の現状と課題」「空港利用者の視点に立った航空サービスの評価基準」「空港能力の見極め」などの調査等情報をもとに、PI実施主体（福岡空港調査連絡調整会議：以下同じ）において、分かりやすく「課題と実現すべき政策的目標」のPIレポートとして取りまとめ提供します。

表 提供情報

提供情報	情報の性格
福岡空港の現状は？ 福岡空港の問題、課題は？ 航空を取り巻く情勢は？	利用や運用の状況、航空を取り巻く情勢など、福岡空港を考える際に必要な基本的な知識、情報について提供します。 (例)・福岡空港の概要、利用状況(路線、便数、離着陸回数等) ・騒音問題や高度制限、運用実態と課題 ・航空の動向、国内外の空港の状況 など
航空サービスの評価をどう考えるか？ 福岡空港の能力はどうか？	福岡空港に関し、航空サービスの現状や水準、空港能力などについての検討情報を提供します。 (例)・福岡空港のサービス水準、利用者の意識 ・利用者の視点に立った空港能力の考え方 ・滑走路増設をしない場合の有効活用策 など

- ・ このPIレポートのもととなった調査等情報についても、ホームページや関係行政機関の情報提供窓口等で公表し、閲覧できるようにします。
- ・ PI参加者のご意見や、第三者機関（福岡空港調査PI有識者委員会（仮称））の助言等により、追加や補足資料のとりまとめを行った場合には、これについても公表します。

## 4 情報提供および意見収集の方法（P I手法）

P Iの開始に先立ち、実施に関し十分な周知広報を実施します。  
情報を容易に入手でき、意見を表明できるP I手法を実施します。  
P I参加者は、空港利用者をはじめ福岡県民、福岡市民など幅広い市民等の皆さんを想定します。

### （1） P I実施に関する周知・広報

P Iの開始に当たっては、事前にP I実施の概要を

- ・ 関係行政機関の広報手段による広報
- ・ 報道機関への情報提供
- ・ 各種メディアでの告知
- ・ ホームページへの掲載

等により、幅広くお知らせします。

### （2） 情報提供及び意見収集の方法

- ・ ステップ1のP Iは、今後の検討の基本的な事項について、共通のベースを持つことを目的とすることから、情報を正確且つ十分に、幅広く伝達し、意見収集が可能な手法に重点を置きます。
- ・ P I参加者がいずれかの手法により容易に情報を入手でき、意見を表明できるよう留意します。
  - 空港等での情報提供やホームページの活用により、地域を限定しない情報提供、意見収集を実施します。
  - オープンハウスや説明会など、特定の場所等を要するP I手法においては、福岡市をはじめ福岡地域、筑豊地域、北九州地域、筑後地域を対象に実施します。

### （3） 想定するP I参加者

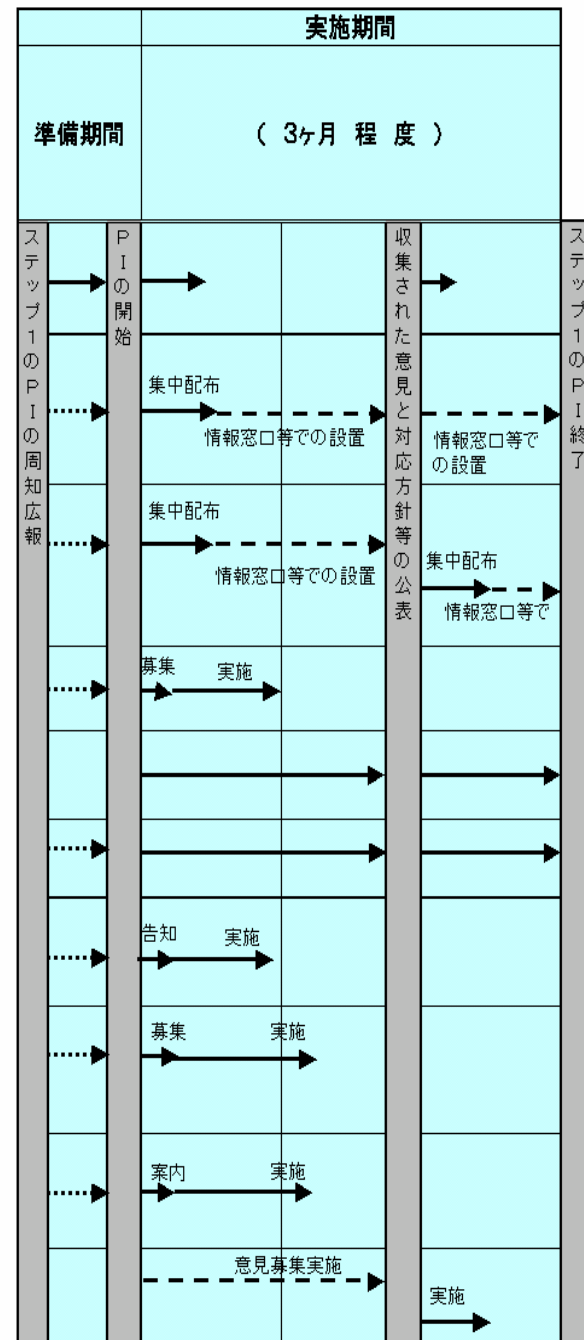
- ・ 福岡空港の広域性、影響範囲の大きさ等から、幅広い市民等の参加を想定するとともに、住所や空港利用の有無に関わりなく、情報を提供し意見を収集します。
- ・ 空港等での情報提供やホームページによる情報提供などにより、市民等の皆さんが幅広く参加できるよう留意します。

（想定するP I参加者）

- ・ 福岡空港の周辺地域住民及びその関連自治体
- ・ 福岡県民、福岡市民
- ・ 福岡空港利用者（居住地等に関わり有りません）
- ・ 県内地方自治体
- ・ 福岡空港の利用企業、航空会社、空港・航空関連企業
- ・ 地元経済団体
- ・ 福岡空港に関心を有する国内外の個人及び団体
- ・ その他

表 ステップ1のPI手法と実施期間

手法	PI参加者					
	●福岡県民 ●福岡市民 ●福岡空港の 周辺地域住民 及び関連自治 体	●空港利用者	●県内地方自 治体	●空港利用企 業、航空会社、 空港・航空関 連企業、地元 経済団体	●福岡空港に 関心を有する 国内外の個人 及び団体	
周知 広報	・関係行政機関の広報手段等各種メディアによる広報 ・ホームページへの掲載 ・報道機関への情報提供					
情報 提供	PILレポートの 配布 PILレポートを配布するもの。	・インフォメーションコーナーや公 共機関の情報窓口等に設置 ・説明会や見学会、オープンハウス、 懇談会参加者への配布 ・ホームページに掲載	○	○	○	○
	PILレポート概 要版(パンフ レット)の配布 PILレポート概要版(パンフレット) を配布するもの。	・インフォメーションコーナーや公 共機関の情報窓口等に設置 ・説明会や見学会、オープンハウス、 懇談会参加者への配布 ・ホームページに掲載	○	○	○	○
	見学会の開 催 空港の現状や利用状況等につ いて現場を見学するもの。	福岡空港にて実施	○	○	—	○
	インフォーメ ーションコー ナー 福岡空港PIの総合的な情報提 供窓口。※あわせて意見の収集も実施。	福岡県、福岡市の庁舎内等複数箇 所検討	○	○	—	○
	HPへの情報 掲載 PI実施主体のホームページに情 報を掲載するもの。※あわせて意見 の収集も実施。	—	○	○	○	○
意見 収集	説明会 PILレポートの内容についての説 明会を開催し、意見収集を行う もの。	福岡市、福岡地域、北九州地域、筑 後地域、筑豊地域にて開催	○	—	—	—
	懇談会 PILレポートの内容について懇談 し意見収集を行うもの。	空港利用企業、航空会社、空港・航 空関連企業、地元経済団体、福岡 空港に関心を有する国内外の個人 及び団体との懇談会を開催	○	—	○	○
	オープンハウ ス PILレポートの内容についての展 示や説明を行い、意見収集を行 うもの。	福岡市、福岡地域、北九州地域、筑 後地域、筑豊地域にて開催	○	○	—	○
	・意見募集 ・パブリック コメント ホームページ等を用いて意見を 募るもの。	—	○	○	○	○



## 5 収集した意見の取扱い

説明会等で寄せられた意見については、個人等に関わる情報を除いて随時とりまとめ公表します。

意見の集約状況を勘案し、収集された意見とその意見に対する考え方、対応について取りまとめ公表します。

収集された意見や第三者機関（福岡空港調査PI有識者委員会（仮称））の助言により追加や補足資料の取りまとめを行う必要がある場合は、迅速に対応し、公表します。

### （1）意見及び意見に対する考え方等の公表

- ・ 説明会、懇談会、オープンハウス等で頂いた意見は、個人等に関わる情報を除き随時公表します。
- ・ 意見がある程度集約された段階で、寄せられた意見とそれに対するPI実施主体の考え方、対応について取りまとめ、公表します。
- ・ PI実施主体がステップ1のPIの目標を達成したかどうかを判断する際は、収集された意見と意見に対する考え方、対応方針をとりまとめ公表します。

### （2）追加及び補足資料の取りまとめ

- ・ 寄せられた意見については、PI実施主体である福岡空港連絡調整会議の構成機関において随時共有し、追加や補足資料のとりまとめが必要と判断される場合は、迅速に対応し、公表します。
- ・ 第三者機関の助言によって追加や補足資料の取りまとめが必要な場合も、速やかに対応し、公表します。



## 6 P Iの終了

P I実施主体として当初の目標が達成されたかどうか、まず判断します。

P I実施主体として終了と判断した場合は、P I実施報告書（第1ステップ）を取りまとめ、第三者機関（福岡空港調査 P I 有識者委員会（仮称））に提出し、評価を受けます。

…このP I実施報告書（第1ステップ）及び第三者機関の評価、助言についても公表します。

第三者機関（福岡空港調査 P I 有識者委員会（仮称））の評価、助言を踏まえ、ステップ1のP Iを継続するか、次のステップのP Iに移るかを総合的に判断し、公表します。

### （1）目標達成の判断

提供した情報の周知や意見集約の状況などについて、P Iの実施を通して把握し、目標が達成されたかどうかを総合的に判断します。

表 判断する際の考え方の例

視点	考え方(例)
情報が市民等に十分に周知されたか。	・提供した情報が正しく伝わったか。 ・「課題と実現すべき政策的目標」の内容が認知されているか。
市民等から幅広く意見が収集されているか	・県民、市民、空港利用者、企業など、幅広い皆さんから意見が収集されているか。 ・意見に対する考え方や対応方針が正しく伝わったか。

### （2）P I実施報告書の作成と提出

目標を達成したと判断される場合には、P Iの実施状況、収集された意見と意見に対する考え方、対応などを取りまとめたP I実施報告書（ステップ1）を速やかに作成し、第三者機関（福岡空港調査P I有識者委員会（仮称））に提出するとともに公表します。

### （3）第三者機関（福岡空港調査 P I 有識者委員会（仮称））の評価とその公表

- ・提出したP I実施報告書は、第三者機関（福岡空港調査P I有識者委員会（仮称））によって、内容が評価されます。  
第三者機関は、評価に際し、必要がある場合は、P I実施主体に実施関係資料の提出を求め、また、ヒアリングすることなどができます。
- ・P I実施報告書に関する評価や助言については、その過程は、個人等に関わる情報を除き公表します。

#### (4) ステップ1のPI終了と結果の公表

- ・ PI実施主体は、第三者機関（福岡空港調査PI有識者委員会（仮称））の評価、助言を踏まえ、PIを継続するか、ステップ1のPIを終了して次のステップのPIに移行するかどうか総合的に判断し、その判断結果を速やかに公表します。
- ・ PIの終了を判断した場合は、PIに係る一連の資料（情報提供した資料、意見等のとりまとめ資料等）を整理し、PI実施報告書とともに保管します。また、その一式を福岡県・福岡市の情報提供窓口等に配置し、市民等の閲覧に供します。

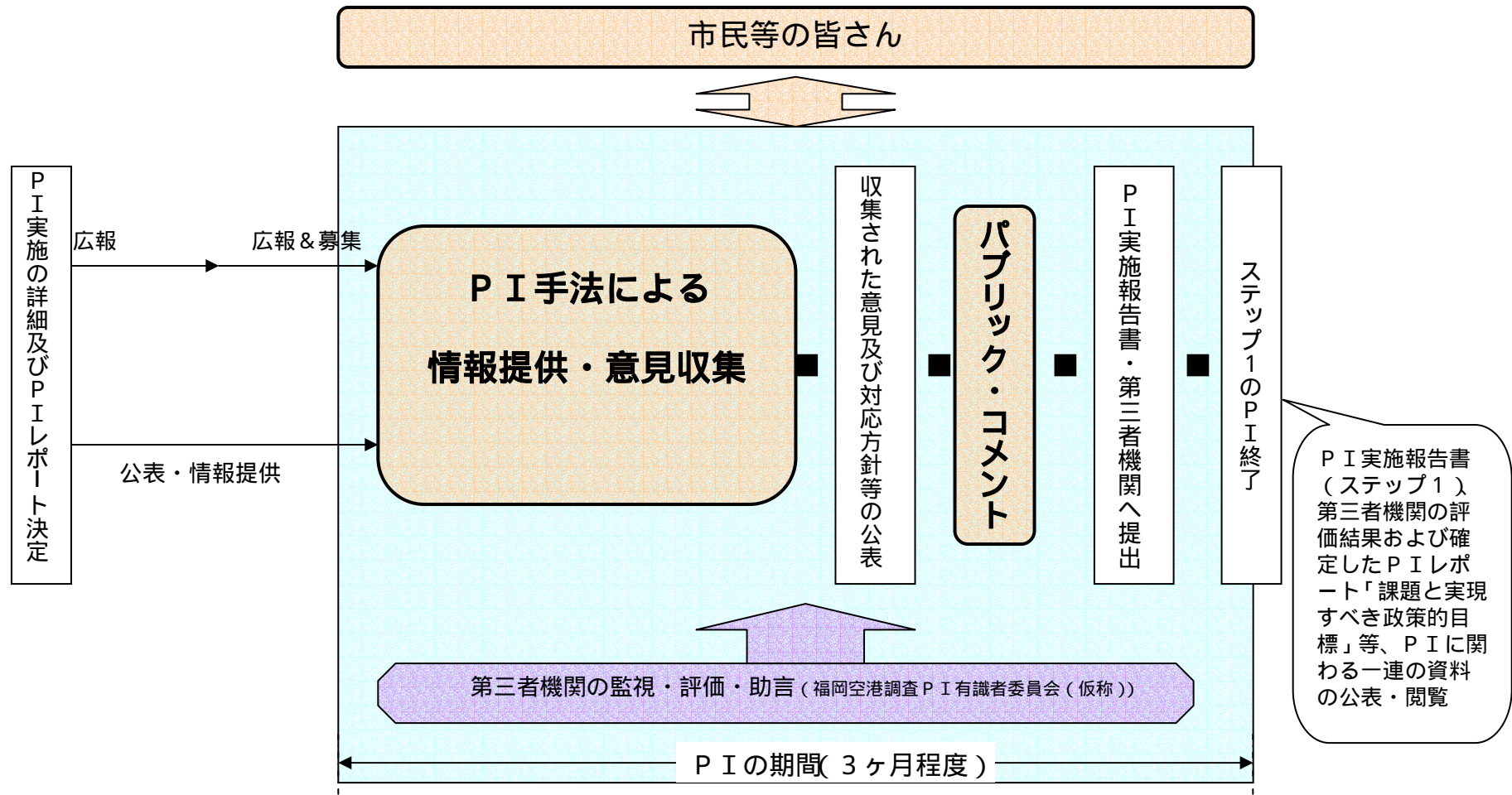


図 PI (ステップ1) の進め方のイメージ

## 7 本P I 実施計画（ステップ1）の策定手順

- ・ P I 実施計画素案は、P I に関するアンケートの結果を踏まえて作成しました。
- ・ この素案についても、ご意見を募集をした上で成案を作成します。
- ・ 福岡空港調査連絡調整会議において成案として決定後、第三者機関（福岡空港調査P I 有識者委員会（仮称））に送付し、評価、助言を受けて確定します。

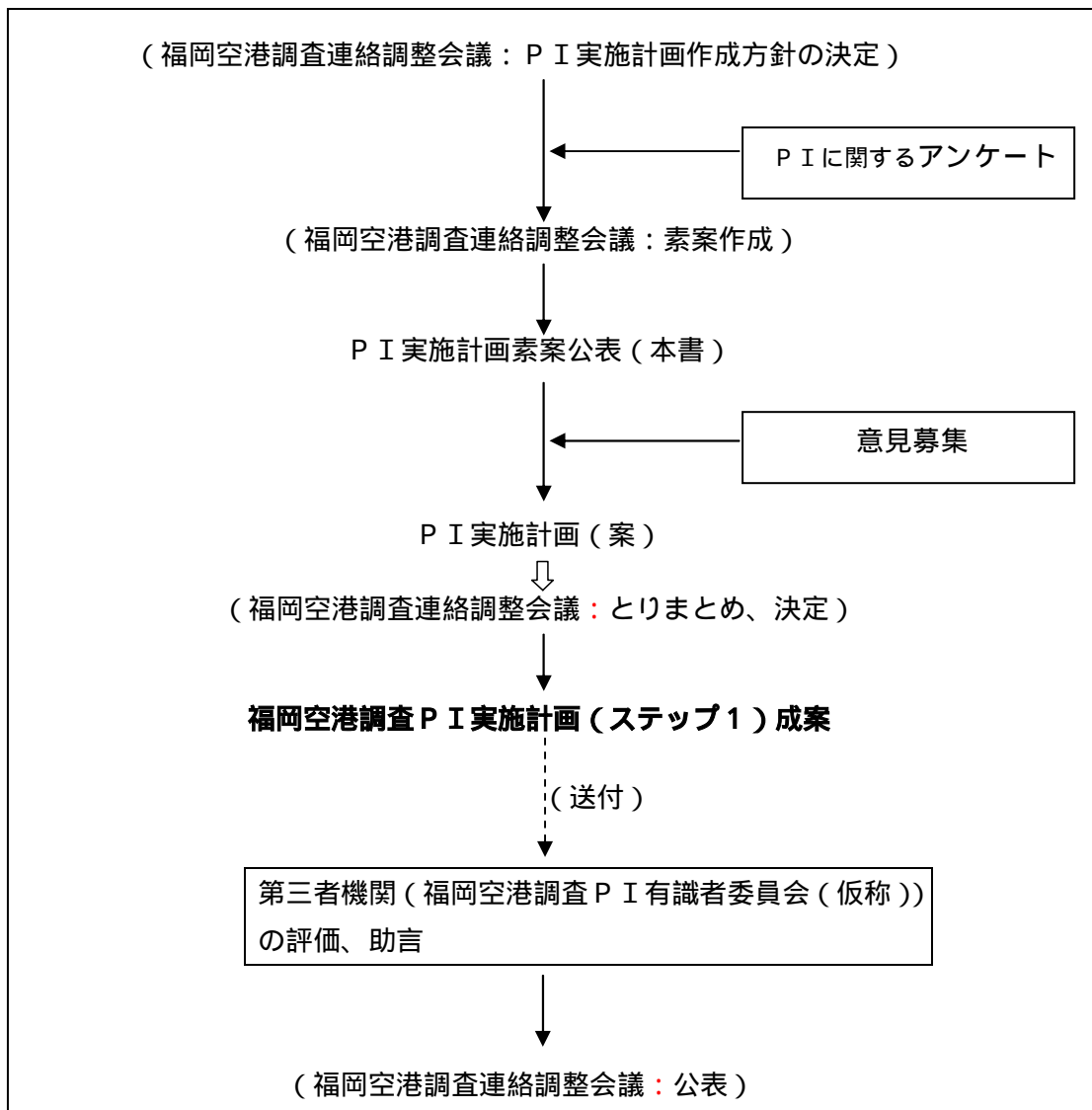


図 P I 実施計画策定・公表手順

## 参考資料

- 1 福岡空港の総合的な調査の概要
- 2 P I手法の概要
- 3 第三者機関（福岡空港調査P I有識者委員会（仮称））資料  
（平成16年9月15日福岡空港調査連絡調整会議幹事会資料）

# 1 福岡空港の総合的な調査の概要

## 福岡空港の総合的な調査




区分	国	地域
滑走路増設をしない場合の現空港の能力の見極め	<b>航空利用者の視点に立った航空サービスの評価基準の検討</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空港能力の考え方の整理</li> <li>・航空サービスに係る指標及び評価方法の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・航空サービスの現状及び利用者ニーズの把握( )</li> </ul>
	<b>現空港の有効活用方策の検討</b>	
将来需要への対応方策の検討	<b>地域から見た福岡空港の役割と効果に関する検討</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要地域拠点空港の役割と効果の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・航空の利用特性の把握( )</li> <li>・空港の社会経済的役割と効果及び将来像の検討</li> </ul>
	<b>将来の航空需要の予測</b>	
将来需要への対応方策の検討	<b>近隣空港との連携方策の検討</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・航空需要の分析</li> <li>・地域特性等を考慮した航空需要予測手法の開発と実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・航空利用者等の現状・動向等地域特性の整理( を活用)</li> </ul>
	<b>近隣空港との連携方策の検討</b>	
将来需要への対応方策の検討	<b>現空港における滑走路増設の検討</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滑走路増設に係る空港の計画要件の検討</li> <li>・現空港における滑走路増設の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滑走路増設の資料収集・整理</li> <li>・滑走路増設に伴う影響と効果の検討</li> </ul>
	<b>新空港の検討</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・空港の計画要件の検討</li> <li>・新空港の検討</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・空港立地の考え方の整理</li> <li>・新空港に係る基礎検討</li> <li>・現空港用地の開発計画の検討</li> </ul>
とりまとめ		

## 2 P I手法の概要

### (1)パンフレット、リーフレット



概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>提供情報を、文章や写真で分かり易く印刷物として製作し、市民等に広く配布。</li> </ul>
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>P Iの実施状況や調査等のレポートなど関連する情報を広く市民等に伝える。</li> </ul>
手法の特徴	<p>リーフレット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>P Iの実施状況や調査等のレポートなど関連する情報をコンパクトにまとめて提供。</li> <li>定期的に出すことを基本とするが、必要に応じ適宜作成することも可能。</li> <li>市民等への配布、関係行政機関の公共施設等での陳列等により、広範囲の市民等が定期的かつ迅速に情報を得ることが可能。</li> </ul> <p>パンフレット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>P Iの実施状況や調査等のレポートなど関連する情報をコンパクトな印刷物として提供する。</li> <li>情報の要点などについて分かり易く入手できるとともに、印刷物として手元に残すことも可能。</li> </ul>
実施のタイミング	<p>リーフレット：最新の情報を定期的に発行。</p> <p>パンフレット：提供する情報の密度等勘案し、適宜発行。</p>
参加者	<ul style="list-style-type: none"> <li>全ての市民等</li> </ul>
提供する情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>P Iで提供する情報全般</li> <li>特に、アンケート等調査の事前告知・結果報告や関連イベントの紹介・結果報告</li> </ul>
事例	<p>リーフレット：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京外かく環状道路 「外環ジャーナル」(新聞折り込み等により配付)</li> <li>千葉柏道路 「千葉柏道路 NEWS」</li> <li>横浜環状道路 「(仮称)横浜環状北西線広報紙」 平成 15 年/7 月 No.1 発行、平成 16 年/1 月現在 No.5</li> </ul> <p>パンフレット：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京外かく環状道路各種パンフレット</li> </ul>

(2)見学会


概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民等が、検討の対象となる地域や施設を直接訪問し、現状や関連する調査結果について説明を聞くための催し。</li> </ul>
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現地を見ることで市民等の理解を深める。</li> </ul>
手法の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域や施設の実情を直接訪問することで、市民等が理解を深めることができる。</li> </ul>
実施のタイミング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 随時。</li> </ul>
参加者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関心、参加意識が高い市民等。</li> </ul>
提供する情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見学対象となる地域や施設に関する情報。</li> </ul>
把握できる情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現地を訪問したことに対する意見、感想。</li> </ul>
事例(イメージ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「空港施設見学会」(イメージ)            空港施設を訪れ、その場で空港の現状について説明を受けることで、空港機能についての理解が深まる。</li> </ul> <div style="text-align: center;">    </div> <p>出典：富山空港「空の日」イベント紹介ページ  <a href="http://www.nsknet.or.jp/~sakuda/travel/toy/">(http://www.nsknet.or.jp/~sakuda/travel/toy/)</a></p>




### (3) インフォメーションコーナー

概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報交換のための施設（立寄りセンター）を常設設置して、市民等の意見や提案を直接把握する。</li> </ul>
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P I および関連する調査等の結果をわかりやすく伝える。</li> <li>・ 市民等からの信頼度を高めること。</li> </ul>
手法の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民等と行政スタッフがフェイス・ツー・フェイスのコミュニケーションを行うことで、信頼関係を高めることが可能。</li> </ul>
実施のタイミング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提供すべき情報が蓄積された段階。</li> </ul>
参加者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設へ直接来訪できる市民等。</li> </ul>
提供する情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P I に関わる情報。</li> <li>・ 調査等の情報。</li> </ul>
把握できる情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公表済み情報に対する市民等の質問や意見。</li> </ul>
事例	<p>仙人峠道路</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仙人峠道路インフォメーションセンター 所在地 岩手県釜石市甲子町 開館時間 10:30～16:00（土日祝日は休館）</li> <li>・ 仙人峠道路の事業の必要性、整備効果、構造物の施工方法・工事の進み具合を、パネルや実際に工事で使用している材料の展示で紹介する。</li> <li>・ 現在おこなっている仙人トンネルの工事の映像を見ることができる。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>


(4)ホームページ

概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット上にホームページを開設し、これを活用して関連する情報を提供。</li> </ul>
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最新情報を迅速にかつ広範囲(全世界)に提供。</li> </ul>
手法の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広範で範囲の特定が困難な市民等に対する情報提供手法として有効な手法。</li> <li>・市民等は、情報を迅速に得ることができ、精度の高い(ボリュームの多い)情報も入手可能。さらにビジュアル表現によりわかり易い情報を得ることができる。</li> <li>・返信メールアドレスを明示することで双方向コミュニケーションが容易に実現。</li> <li>・パソコン等のインターネット端末が必要。</li> </ul>
実施のタイミング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P Iの実施と同時に設置されることが望ましい。</li> <li>・以降、こまめに情報を更新し、タイムリーな情報提供を行うことが重要。</li> </ul>
参加者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民等に加え、関連する全ての人を対象。</li> </ul>
提供する情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P Iに関するすべての情報(調査等の情報を含む)。</li> </ul>
把握できる情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ上に掲載されている情報に対する質問や意見(返信メールアドレスの活用による)。</li> </ul>
事例	<p>東京外かく環状道路</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な掲載コンテンツ</li> </ul> <p>外環とは/スケジュールと経過/外環への意見(意見募集と意見紹介)/有識者委員会/沿線協議会/パンフ・資料/用語集/広報誌</p>  <p>The screenshot shows a web browser window displaying the homepage for the 'Tokyo Outer Ring Road' project. The page features a green header with navigation tabs like 'Home', 'About', 'Schedule', 'Opinion', 'Committee', 'Agreement', 'Pamphlet', 'Glossary', and 'Publicity'. The main content area includes a map of the road route, a 'News' section with several announcements (e.g., 'Outer Ring Road Journal 15th Issue Released'), and a 'Schedule and Progress' section. The browser's address bar shows the URL 'http://www.tokai.co.jp/outer/outer.html'.</p>


(5)説明会

概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 調査等の情報をPI実施主体が説明し、市民等からこれに対する質問や意見を受ける公式の場として開催。</li></ul>
目的	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 公式にPI実施主体が市民等に対して、調査等の情報を提供する。</li></ul>
手法の特徴	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 正確な情報を伝えることが可能。</li><li>・ 説明会やセミナーのみで市民等と十分なコミュニケーションするためには、他の対話手法と組み合わせて用いることが必要。</li></ul>
実施のタイミング	<ul style="list-style-type: none"><li>・ とりまとめられた情報等を提供する際に実施。</li></ul>
参加者	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 全ての市民等</li></ul>
提供する情報	<ul style="list-style-type: none"><li>・ とりまとめられたレポート及び関連する調査等の情報</li></ul>
把握できる情報	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 提示した情報に関する市民等の意見や疑問</li></ul>
事例	<p>余目酒田道路整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 余目酒田道路では、地区の懇談会において、中立的な立場の司会者のもと実施。</li><li>・ 司会者が、「事業者側の発言を、分かりやすい言葉で解説」し、市民の意見のポイントと背景にある関心等を確認しながら進行することで、多くの参加者から「分かりやすい」との評価を受けた。</li></ul> <p>余目酒田道路整備事業における実施状況</p> 


(6) 懇談会

概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 関連事業者や市民、各種の団体、有識者など特定のカテゴリーの関係者と意見交換を行い、情報の共有等を図る。</li></ul>
目的	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 情報を提供し、特定のカテゴリー層の意見や論点を顕在化させること。</li></ul>
手法の特徴	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 十分に情報提供し、議論することにより、相互の理解を深めることができる。</li><li>・ 参加者の属性に応じて設置することで、参加者が発言しやすい環境を創出する。</li></ul>
実施のタイミング	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 検討の初期の段階から。</li></ul>
対象者	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 関連する事業者や関心を持つ市民、各種の団体（市民団体等も含む）、専門知識を有する有識者など。</li></ul>
提供する情報	<ul style="list-style-type: none"><li>・ その時点で議題とすべき事項の詳細な情報</li></ul>
把握できる情報	<ul style="list-style-type: none"><li>・ その時点での各参加者の関心。</li></ul>
事例	<p>国道 8 号加賀拡幅に係る懇談会</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 国道 8 号加賀拡幅事業では、地域住民等との懇談会と、「沿道商業者懇談会」（沿道商業関係者が参加）などを設置。</li><li>・ 沿道の商業事業者としての拡幅事業に対する意見を把握した。</li></ul> 

(7)オープンハウス

<p>概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ パネルの展示やパンフレット等資料の配布（場合により、図面、写真、模型、ビデオを用いた解説）により、市民等が参加しやすい時間帯に情報を提供する場を設ける。</li> <li>・ 市民等は担当の行政スタッフに対して質問し、コメントカードやアンケートによって意見を述べる事が可能。</li> </ul>
<p>目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民等が、参加しやすい環境のもと、とりまとめられたレポートや関連する調査等に関する正確な情報を提供する。</li> <li>・ 会議形式の行事に抵抗感を有する市民等に機会を提供し幅広く情報提供する。</li> </ul>
<p>手法の特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 説明会など大勢の前で発言することに抵抗感を有する市民等も参加し易い。</li> <li>・ 市民等は、都合の良い時間に立ち寄り、必要な情報だけを得ることが可能。</li> <li>・ フリップボード等に参加者の意見を残すことで、他の参加者の意見を知ることが可能。</li> </ul>
<p>実施のタイミング</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 随時。</li> </ul>
<p>参加者</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全ての市民等</li> </ul>
<p>提供する情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ その時点で議題とすべき事項の詳細な情報</li> </ul>
<p>把握できる情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提示した情報に関する市民等の意見や疑問</li> </ul>
<p>事例</p>	<p>(仮称)横浜環状北西線整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画検討の開始に当たって、オープンハウスを実施。</li> <li>・ パネル等を用いて計画の目的や今後の進め方等の情報を提示する一方、来訪者から質問や意見を受付。</li> <li>・ 役所のホールに加え、日常的に人が多く集まるショッピングセンター、駅構内、パーキングエリア、動物園等で実施。</li> </ul> <p>(仮称)横浜環状北西線整備事業における実施状況</p> 

(8)パブリック・コメント

概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調査等の成果に対する市民等の意見を、幅広く集約すること。</li> </ul>
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調査等の成果に対する市民等の意向を把握すること。</li> </ul>
手法の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提示された調査等の成果に対して関心のある市民等が、自由に意見を述べる事が可能。</li> </ul>
実施のタイミング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ レポートが取りまとめられるなど、一定の成果がまとまったとき。</li> </ul>
参加者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ すべての市民等。</li> </ul>
提供する情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 取りまとめられたレポート及び関連する調査等の情報など。</li> </ul>
把握できる情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提示された調査等の成果に対する市民等の意見。</li> </ul>
事例	<p>福岡県</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福岡県庁ホームページで公開されているパブリックコメント募集案内</li> <li>・ 掲載内容 趣旨説明/意見書様式/意見募集の対象となる資料/意見書の提出期間/意見の提出方法/(持参、郵送、ファクシミリ又は電子メール)/意見書の提出先</li> </ul>  <p>The screenshot shows a webpage from the Fukuoka Prefecture website. The title is 'パブリックコメント募集案内' (Public Comment Collection Notice). The page contains detailed information about the public comment process, including the purpose, collection period, and submission methods. It lists four main steps: 1. Collection period, 2. Collection methods (mail, fax, or email), 3. Submission of comments, and 4. Collection of comments. The page also includes contact information for the Public Comment Collection Center.</p>

### 3 第三者機関（福岡空港調査 P I 有識者委員会（仮称））資料 （平成 16 年 9 月 15 日福岡空港調査連絡調整会議幹事会資料）

#### 福岡空港調査 P I 有識者委員会（仮称）の設置について

##### 1 目的

福岡空港の総合的な調査における P I プロセスの手続きの透明性、客観性、公正性を確保するため、公正・中立な立場から、P I 実施主体（福岡空港調査連絡調整会議）が行う P I のプロセスについて監視、評価、助言する機関として設置する。

##### 2 所掌事項

福岡空港調査 P I 計画を踏まえ、以下の事項とする。

- ・ P I 実施計画に関する審議、評価、助言
- ・ P I 実施期間中の監視、助言
- ・ P I の結果に関する審議、評価、助言 等を行う。

これらの助言等は、P I 実施主体である福岡空港調査連絡調整会議に対して行う。

##### 3 構成

- ・ 委員会は、目的の達成に必要な専門的知識等を有し、福岡空港の対応策等について中立的、客観的な立場を有する有識者をもって構成する。
- ・ 委員の構成及び選定方法 …… 別紙のとおり

##### 4 その他

- ・ 委員会は、福岡空港の総合的な調査に係る検討の全ステップに対応した P I が終了するまでとする。
- ・ 事務局は、福岡空港調査連絡調整会議事務局とは別に設置する。

## 福岡空港調査 P I 有識者委員会（仮称）委員の選定方法（案）

委員は、有識者委員会の所掌事項、責務の性質等を勘案し、以下の考え方に沿って選任することとし、また、可能な限り専門分野に関する団体から推薦を受けるなど、選出の過程の透明性を確保することとする。

なお、委員の選定の過程、選定理由等については、ホームページ等により公表するものとする。

### (1) 基本的な事項

P I プロセスを客観的な立場から監視するという委員会の目的またその性格等から、福岡空港の対応策等について中立的、客観的な立場を有されていること。  
特定の行政機関及び特定の利害関係者又は利害団体の意見を代表していないこと。  
一定期間に集中すると予想される P I プロセスの監視、助言等のための実態把握、会議等に従事することが可能であること。また、任期を全うすることが可能であること。  
福岡空港の総合的な調査における P I の意義、目的について理解・賛同していること。

### (2) 個別的な事項（専門性等）

- ・ P I に関する有識者
  - … 交通計画分野における P I、欧米における事例、手法等に精通するとともに、P I に携わる等の経験を有されている有識者。
- ・ 空港計画に関する有識者
  - … P I プロセスで提供される情報は、空港に関する調査情報であるため、空港をはじめとする交通計画全般に精通されている有識者。
- ・ 法制度・行政手続きに関する有識者
  - … P I プロセスの手続きの妥当性、情報公開に関する法及び視点からの評価、点検を行うために重要な地域の情報公開条例、情報公開の状況等に知見を有されている有識者。
  - ・ 地域に活動拠点を置かれている方で、弁護士会等関係団体からの推薦を受けられた有識者。
- ・ マスコミ・ジャーナリズムに関する有識者
  - … P I 手法、コミュニケーションのあり方の適切性等の評価、点検を行うために重要な情報提供の手法等市民等とのコミュニケーションに関し、地域特性を踏まえた知見を有されている有識者。
- ・ 事業、経営に関する有識者
  - … P I が効率的に行われているか等の評価、点検を行うために重要な事業運営などマネジメントについての知見を有されている有識者。
  - ・ 地域に活動拠点を有されている方で、公認会計士協会等関係団体からの推薦を受けられた有識者。



## 「福岡空港の総合的調査に係る P I 実施計画」作成にあたっての 意見収集アンケート 結果概要

福岡空港調査 P I 実施計画素案の作成に際して、市民等の意見を反映しつつ検討するため、第 1 段階として「福岡空港の総合的な調査に係る P I 実施計画作成にあたっての意見収集アンケート」(以後「P I に関するアンケート」という)を、平成 16 年 9 月 29 日から 10 月 18 日(インターネットについては 20 日まで)にかけて実施した。

その結果、677 名の方からご回答をいただいた。これらのご回答については、今回の第 1 ステップの福岡空港調査 P I 実施計画のみならず、全てのステップの P I 実施計画に反映させていただくこととする。

### 1 実施概要

実施期間	2004 年 9 月 29 日 ~ 10 月 18 日 (Web20 日)
配布方法	配布 (周辺地域) 郵送 (地方自治体、企業、経済団体等) 空港・駅等での配布 県市情報提供窓口での配布 ホームページによるインターネット (Web) アンケート
対象者	空港周辺地域住民及び関連自治体 利用企業 福岡空港利用者 福岡県民、福岡市民 経済団体 NPO、市民団体 地方自治体 等
回収方法	郵送、Web、街頭聞き取り、ファックス
回収数	677

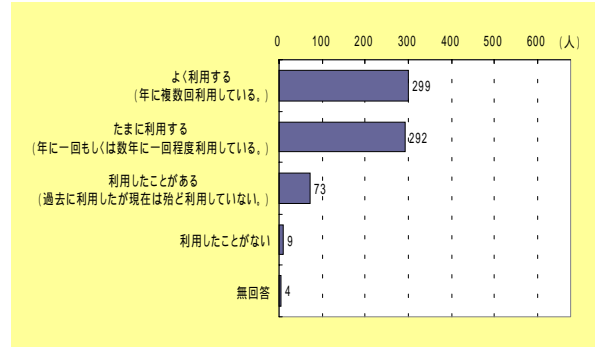
## 2 アンケート結果の概要

### Q 1 . 福岡空港のご利用状況と、現空港の印象

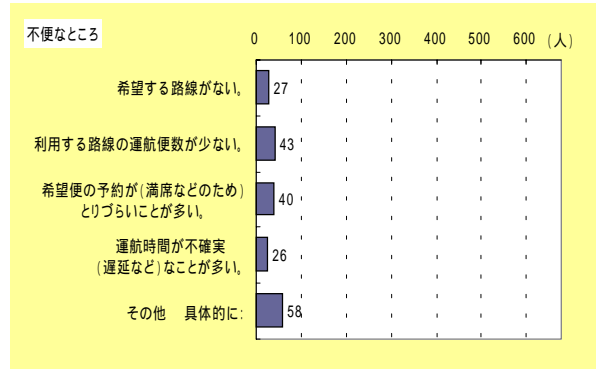
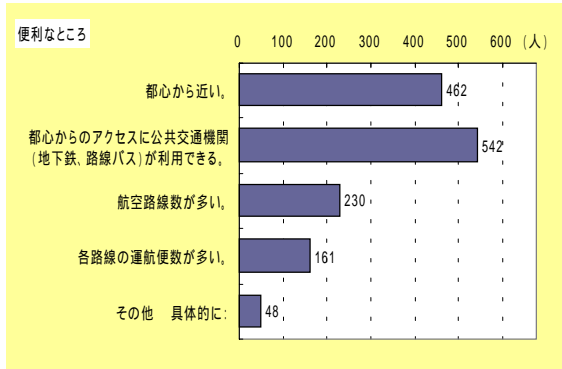
#### Q 1 - 1 . 福岡空港のご利用の

状況について

(一つだけ選択)



#### Q 1 - 2 . 現空港の利便性について (複数選択可)



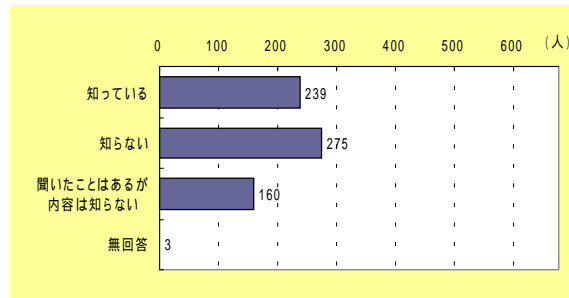
### Q 2 . 福岡空港の総合的な調査について

#### Q 2 - 1 . 福岡空港の総合的な調査を国、

福岡県、福岡市が実施している

ことを知っているか。

(一つだけ選択)

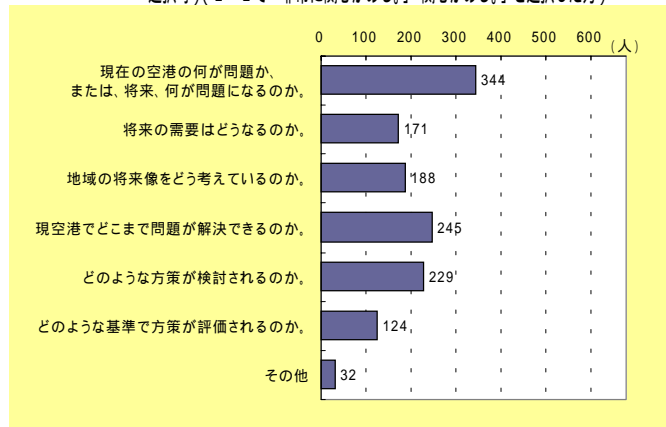
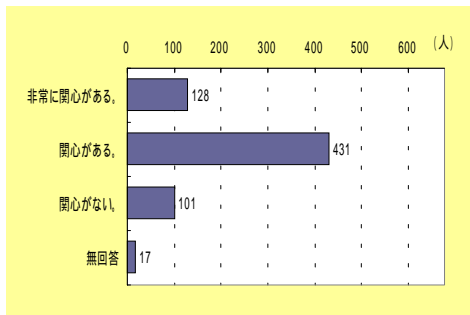


#### Q 2 - 2 . 福岡空港の総合的な調査に関心

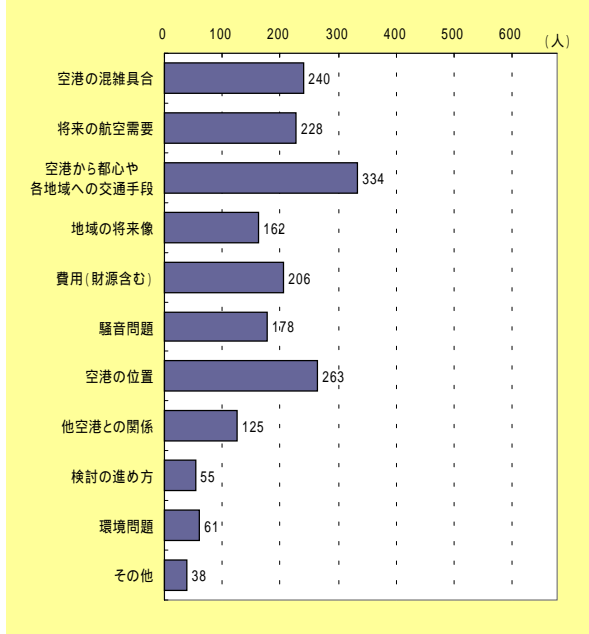
があるか。(一つだけ選択)

#### Q 2 - 2 - 1 総合的な調査のなかで

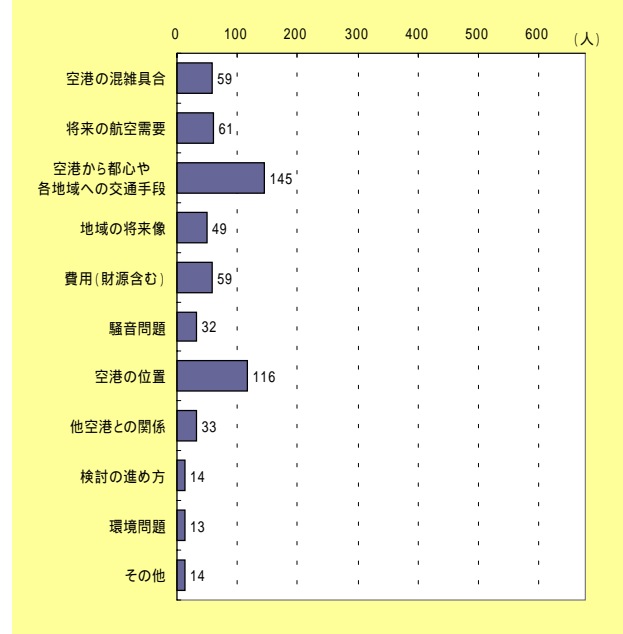
どのような調査に関心がありますか。(複数  
選択可)(2-2で「非常に関心がある。」「関心がある。」を選択した方)



Q 2 - 3 . 福岡空港の問題を考える際に  
 しては、どういうことに関心があるか。  
 (複数選択可)

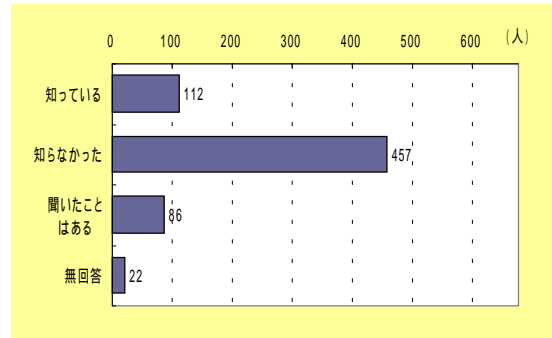


Q 2 - 3 - 1 . うち、特に関心  
 があるもの(一つだけ選択)



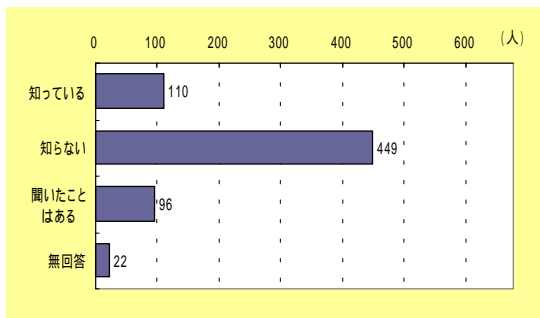
Q 3 . 福岡空港調査 P I 計画について

Q 3 - 1 . P I (パブリック・インボルブメント)  
 という言葉や内容について  
 (一つだけ選択)

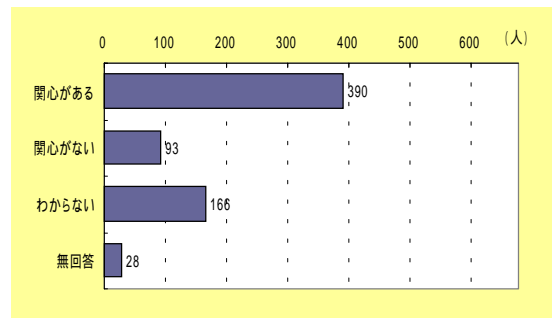


Q 3 - 2 . 福岡空港調査 P I 計画について(一つだけ選択)

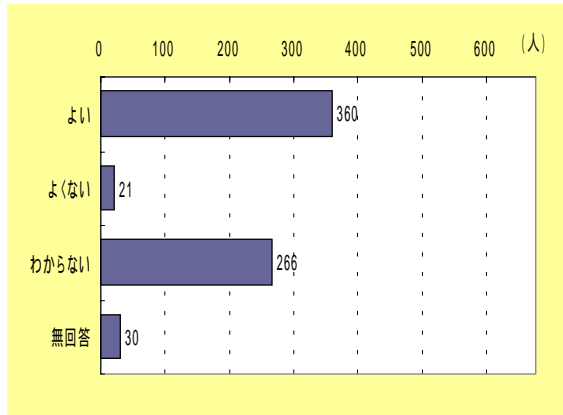
福岡空港調査 P I 計画について



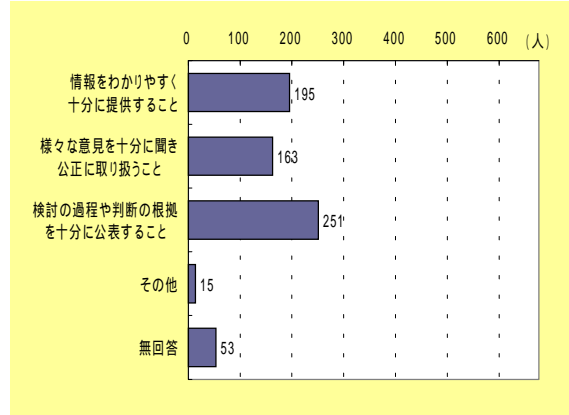
福岡空港調査 P I 計画への関心



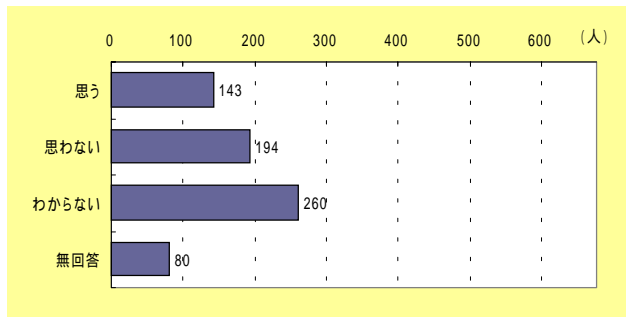
Q 3 - 3 . 福岡空港調査 P I 計画を  
どう思うか。(一つだけ選択下さい。)



Q 3 - 4 . 福岡空港調査 P I 計画で重要  
なことは何だと思うか。(一つだけ選択)

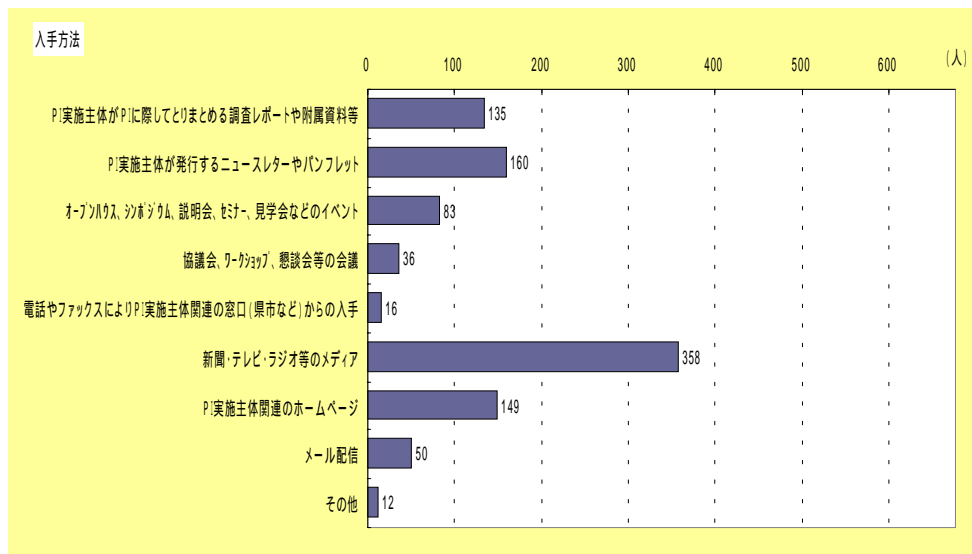


Q 4 . 福岡空港の P I の活動に参加し、意見を表明したいと思うか。(一つだけ選択)

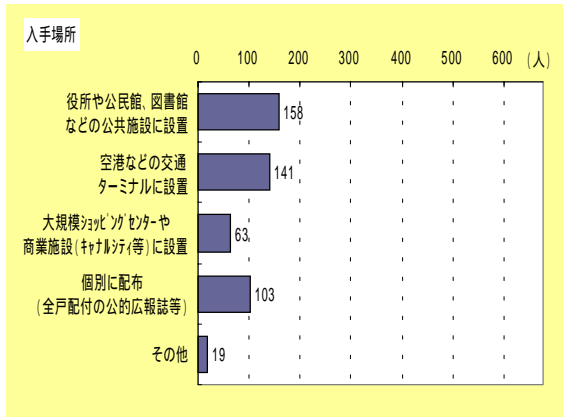


Q 5 . 福岡空港の総合的な調査に対する情報を、どういう方法及び場所で入手したいと思うか。

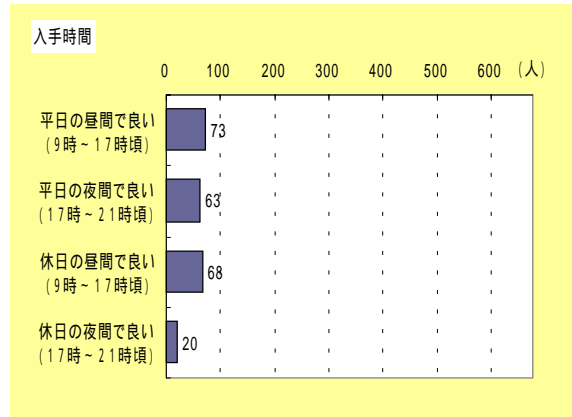
どのような方法で入手したいと思いますか。(複数選択可)



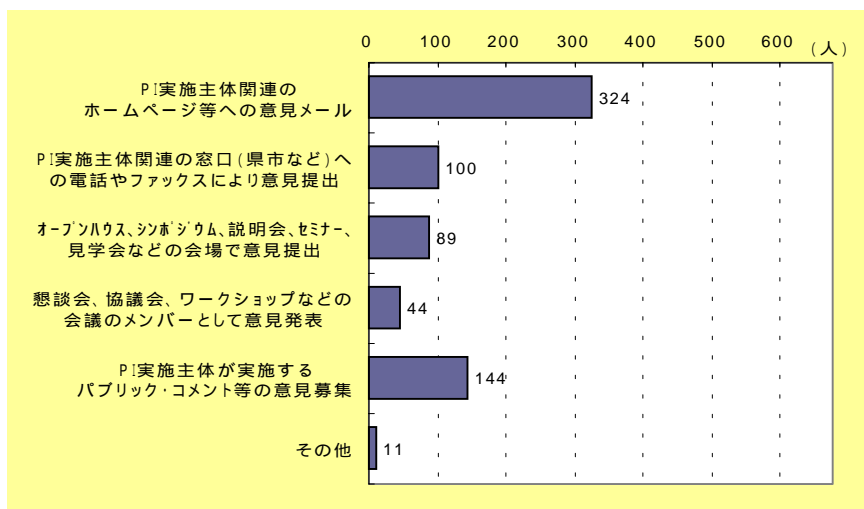
-1 どのような場所で受取りたい  
 と思いますか。(複数選択可)



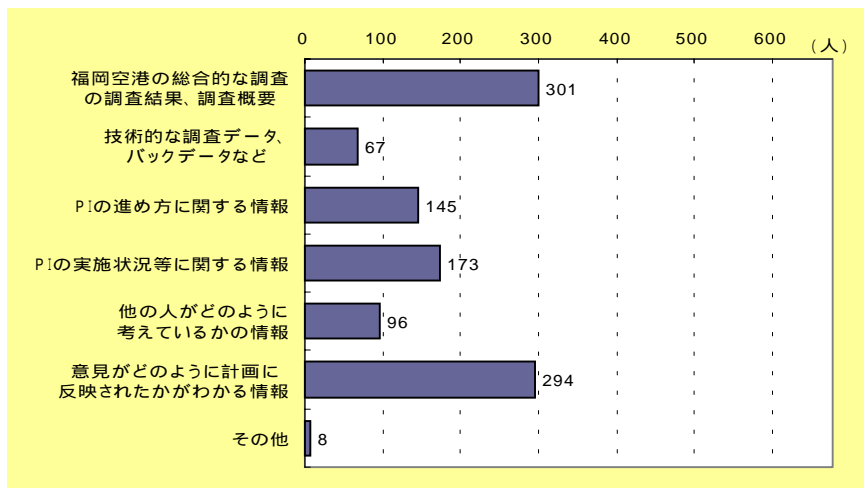
-2 都合の良いお時間は  
 いつ頃ですか。(複数選択可)



Q6. どのような方法で、福岡空港の総合的な調査に対する意見を提出したいと思いますか。(複数選択可)



Q7. P1を通じて、どのような情報を知りたいとお考えですか。(複数選択可)



### 3 自由記述意見

PI についての主なご意見 ( 5 0 件 )

- ・ 全般的な進め方について ( 1 1 件 )
  - ... ・ PI の実施にあたっては、利用者や市民の意見を十分にくみ取り、皆が満足行くものとし、公正・公平・慎重に進めるべきなどのご意見。
- ・ PI の検討の進め方について ( 4 件 )
  - ... ・ 幅広い県民市民の参加、幅広い意見収集と検討、判断の根拠の公表等によるコンセンサス形成をすべきなどのご意見。
- ・ 情報提供について ( 9 件 )
  - ... ・ 分かり易く、オープンで偏りのない情報提供をすべきなどのご意見。
- ・ 意見収集について ( 7 件 )
  - ... ・ 意見を言いやすく、分かり易い体制を整備し、国内外企業、空港利用者、近隣市、県外利用者等の意見も取り入れるべきとのご意見。
- ・ 周知広報について ( 4 件 )
  - ... ・ 広報が不足、関心を持ってもらうため情報が広く伝わるよう工夫すべきとのご意見。
- ・ PI 手法について ( 3 件 )
  - ... ・ ホームページ、メール、新聞など色々な方法で情報を知らせるべきとのご意見。
- ・ その他 ( 1 2 件 )
  - ... ・ 効率のよい進め方で時間と経費の節減を図るべきとのご意見。
  - ... ・ 調査委員会や第三者機関に市民を参加させるべきとのご意見。
  - ... ・ (この)アンケートの内容や配付方法、結果の活用等についてのご意見。

その他のご意見 ( 1 1 9 件 )

- ・ 福岡空港は、都心 ( 博多や天神 ) から近くて便利なところが利点であり、移転してしまえば不便になる。移転には反対。
- ・ 関空、名古屋、成田等に比べ、こんな便利な空港は他にない。ぜひとも残すべき。新空港にお金をかけるより、北九又は佐賀との連絡交通網を整備することが必要。
- ・ 福岡空港は数ある国内の空港の中でも天神・博多など街中心に近いのが魅力。ただ将来の混雑のことを考えると、場所を変えずに、滑走路を一本増やせば、それが一番だと思う。
- ・ 都心部の空港であり、アクセスも良く、利用しやすい空港だと思う。しかしながら、空港周辺の騒音の問題や市街地を航路としている現状から、事故等の発生を考慮し、海上空港も視野に入れた計画が必要だと思う。
- ・ 少子高齢化に向っているとき将来の航空需要をよく把握して、無駄な投資にならないよう慎重に調査し発表すべき。
- ・ 形式的な調査に終わることがないようにすべき。

## 福岡空港調査P I実施計画（ステップ1）素案についての 意見募集について

P Iの第1ステップ「課題と実現すべき政策的目標」に対応する実施計画については、空港利用者をはじめ幅広い市民等の意見を反映しつつ検討するため、第1段階として、「P Iに関するアンケート」を踏まえ素案を作成し、第2段階として、その素案についてもご意見を募集することとしている。今回、アンケートの結果を踏まえ素案を作成したことから、当該素案について意見募集するもの。

### 1 意見募集の期間

平成16年11月11日から平成16年12月10日までの1ヶ月間

### 2 素案及び意見募集の告知

素案及び意見募集要領について、

- ・関係機関のホームページに掲載
- ・県市の情報提供窓口への設置
- ・県内自治体への配置依頼
- ・空港等での配付

等の方法で配付し、告知、意見募集する。

P I実施計画の概要等意見募集に資する資料については、事務局において実施までの間に作成する等工夫する。

福岡空港の総合的な調査に係る「福岡空港調査  
P I実施計画(ステップ1)」素案についてのご  
意見の募集について(案)

平成16年 11月11日  
福岡空港調査連絡調整会議

国及び福岡県、福岡市が連携して実施する福岡空港に係る総合的な調査については、透明性、中立・公正性を確保し、また、空港利用者をはじめ幅広い皆様のご意見を反映しながら進めていくため、パブリック・インボルブメントの手法を取り入れた「福岡空港の総合的な調査に係る情報提供及び意見収集のあり方」(P I計画)(平成16年6月決定)を基本方針として進めていくこととしております。

この度、このP I計画をもとに、検討の各ステップに対応した具体的な実施計画を策定し、段階を踏んでP Iを実施していくこととなりますが、検討の第1ステップ「課題と実現すべき政策的目標」に関するP Iを平成17年度に実施するため、その実施計画の素案として「福岡空港調査P I実施計画(ステップ1)素案」を取りまとめました。

つきましては、この「素案」に反映していくため、広く皆様からのご意見を募集いたします。

---

募集対象 「福岡空港調査P I実施計画(ステップ1)」素案

募集期間 平成16年11月11日から平成16年12月10日まで

「福岡空港調査P I実施計画(ステップ1)」素案の公開と入手の方法

1 ホームページでの公開

九州地方整備局のホームページ

<http://www.qsr.ml.it.go.jp>

トップページ・新着情報

<http://www.pa.qsr.ml.it.go.jp> (港湾空港部)

トップページ・福岡空港の総合的な調査

大阪航空局のホームページ

<http://www.ocab.ml.it.go.jp>

トップページ 最新情報

福岡県のホームページ

<http://www.pref.fukuoka.jp>

トップページ・「住まいと交通」の道路・交通

「福岡空港調査連絡調整会議」

福岡市のホームページ

<http://www.city.fukuoka.jp>

トップページ・「暮らしの基盤」 「福岡空港」 「福岡空港調査連絡調整会議」



2 窓口等での配付 ・福岡県及び福岡市の各情報提供窓口 ... [別添一覧参照](#)

- ・福岡県企画振興部空港対策局空港計画課  
福岡市博多区東公園 7 - 7  
092-643-3216
- ・福岡市総務企画局（空港推進担当）  
福岡市中央区天神 1 - 8 - 1  
092-711-4102

ご意見の提出方法 ... ご意見の提出先については、福岡県、福岡市とさせていただきます。

- ・ご提出頂く際には、必ず「福岡空港 P I 実施計画素案に関する意見」もしくは「P I 実施計画に関する意見」と明記下さい。
- ・「お名前」、「ご住所」を明記の上、「ご意見」と「その理由」を記載して、いずれかの方法で提出下さい。 様式は任意です。

1 電子メールの場合

- 電子メールアドレス：
- ・（福岡県企画振興部空港対策局空港計画課）  
kuko2@pref.fukuoka.lg.jp  
広報班 宛
  - ・（福岡市総務企画局（空港推進担当））  
kukosuishin.GAPB@city.fukuoka.jp  
空港推進担当 宛

2 F A X の場合

- F A X 番号：
- ・（福岡県）092-643-3217  
福岡県企画振興部空港対策局空港計画課  
広報班 宛
  - ・（福岡市）092-733-5582  
福岡市総務企画局  
空港推進担当 宛

3 郵送の場合

- （福岡県）〒812-8577 福岡市博多区東公園 7 - 7  
福岡県企画振興部空港対策局空港計画課  
広報班 宛
- （福岡市）〒810-8620 福岡市中央区天神 1 - 8 - 1  
福岡市総務企画局  
空港推進担当 宛

注意事項

- ・いただいたご意見については、氏名、住所、電話番号、電子メールアドレス等個人が特定できる内容を除いて公表を予定しておりますので、予めご承知おき下さい。
- ・なお、個別のご意見への回答はいたしかねますので予めご了承下さい。

## 「福岡空港調査PI実施計画(ステップ1)」素案ご希望の方へ

下記の機関で配布しております。

なお、お問い合わせについては、県、市の問い合わせ先までご連絡下さい。

### 福岡県機関

- ・ 空港対策局空港計画課  
 県庁舎行政棟北側9階  
 〒812-8577 福岡市博多区東公園7番7号  
 代表 TEL(092)651-1111 内線 2697  
 直通 TEL(092)643-3216
- ・ 県民情報センター  
 県庁舎行政棟北側1階  
 〒812-8577 福岡市博多区東公園7番7号  
 代表 TEL(092)651-1111 内線 2459  
 直通 TEL(092)643-3108
- ・ 北九州県民情報コーナー  
 県小倉総合庁舎2階  
 〒803-0813 北九州市小倉北区内7番8号  
 TEL (093)581-4934
- ・ 筑後県民情報コーナー  
 県久留米総合庁舎1階  
 〒839-0861 久留米市合川町1642番地の1  
 TEL (0942)30-1030
- ・ 筑豊県民情報コーナー  
 県飯塚総合庁舎1階  
 〒820-0004 飯塚市新立岩8番1号  
 TEL (0948)29-5459
- ・ 京築県民情報コーナー  
 県行橋総合庁舎1階  
 〒824-0005 行橋市中央1丁目2番1号  
 TEL (0930)23-9189

### 福岡市機関

- ・ 総務企画局  
 空港推進担当  
 〒810-8620 福岡市中央区天神1丁目8-1  
 TEL (092)711-4102
- ・ 市政情報コーナー  
 〒810-8620 福岡市中央区天神1丁目8-1  
 TEL (092)711-4041
- ・ 情報プラザ  
 〒810-0001 福岡市中央区天神1丁目7-11(イムズ7F)  
 TEL (092)733-5333
- ・ 東区役所  
 企画課  
 〒812-8653 福岡市東区箱崎2丁目54-1  
 TEL (092)645-1012
- ・ 博多区役所  
 企画課  
 〒812-8512 福岡市博多区博多駅前2丁目9-3  
 TEL (092)419-1011
- ・ 中央区役所  
 企画課  
 〒810-8622 福岡市中央区大名2丁目5-31  
 TEL (092)718-1013

- ・南区役所  
企画課  
〒815-8501 福岡市南区塩原3丁目25-1  
TEL (092)559-5017
- ・城南区役所  
企画課  
〒814-0192 福岡市城南区鳥飼6丁目1-1  
TEL (092)833-4009
- ・早良区役所  
企画課  
〒814-8501 福岡市早良区百道2丁目1-1  
TEL (092)833-4307
- ・早良区入部出張所  
〒811-1102 福岡市早良区東入部2丁目14-8  
TEL (092)804-2011
- ・西区役所  
企画課  
〒819-8501 福岡市西区内浜1丁目4-1  
TEL (092)895-7007
- ・西区今宿出張所  
〒819-0166 福岡市西区横浜1丁目2-1  
TEL (092)806-0004

## 福岡空港の総合的な調査 平成16年度の実施内容（変更案）

## （1）滑走路増設をしない場合の現空港の能力の見極め

## 航空利用者の視点に立った航空サービスの評価基準の検討

福岡空港の空港能力の見極めを行うため、15年度に整理した空港能力の考え方や具体的な指標に沿って、航空サービス及び利用者ニーズの現状を把握するとともに、航空利用者の視点に立って空港能力を評価する手法の検討を行う。

- ・航空サービスの現状及び利用者ニーズの把握（地域）
- ・航空サービスに係る指標及び評価方法の検討（国）

## 現空港の有効活用方策の検討

現空港を最大限に活用するため、15年度に抽出された空港能力を制約する課題の対応方策および空港利用向上方策についての検討結果を踏まえ、具体的な有効活用方策の検討を行う。

- ・空港能力を制約する課題への対応方策の検討（国・地域）
- ・空港利用向上方策の検討（国）

空港能力の見極め

現空港の具体的な有効活用の方策の検討を踏まえ、航空サービスに係わる評価指標や評価方法を用いて、滑走路を増設しない場合の現空港の空港能力を検討する。

- ・評価のための基礎調査（地域）
- ・航空サービスの評価基準による現空港の空港能力の評価と見極め（国）

## （2）将来需要への対応方策の検討

## 地域から見た福岡空港の役割と効果に関する検討

平成15年度に引き続き、福岡空港の社会経済的な効果や役割等について整理・分析するとともに、主要地域拠点空港の役割を検討するほか、新たに国内外の社会経済情勢の変化に対して地域を取り巻く課題を踏まえ、地域と福岡空港の将来像を検討する。

- ・福岡空港の利用特性の把握と分析（地域）
- ・主要地域拠点空港の役割と効果の検討（国）
- ・空港の社会経済的役割と効果及び将来像の検討（地域）

## 将来の航空需要の予測

航空利用者等の現状・動向等の地域特性を踏まえ、きめ細かい航空需要の分析を行うための手法の開発に向けた検討を行う。

- ・航空利用者等の現状・動向等地域特性の整理（地域）
- ・地域特性等を考慮した航空需要予測手法の開発（国）

## 福岡空港の総合的な調査 平成 17 年度の調査の方向性（案）

## （ 1 ）滑走路増設をしない場合の現空港の能力の見極め

## 空港能力の見極め

平成 16 年度に引き続き、現空港の具体的な有効活用の方策の検討を踏まえ航空サービスに係わる評価指標や評価方法を用いて、滑走路を増設しない場合の現空港の空港能力の見極めを行う。

- ・航空サービスの評価基準による現空港の空港能力の評価と見極め（国）

## （ 2 ）将来需要への対応方策の検討

## 地域から見た福岡空港の役割と効果に関する検討

平成 16 年度までに整理・分析した福岡空港の社会経済的な効果や役割に関する検討を基に、主要地域拠点空港の役割や効果についての検討結果も加え、地域と福岡空港の将来像のあり方を取りまとめる。

- ・空港の社会経済的役割と効果及び将来像の検討（地域）

## 将来の航空需要の予測

平成 16 年度に引き続き航空利用者等の現状・動向等の地域特性等を踏まえるなど、きめ細かい予測手法による将来の航空需要の予測を実施する。

- ・地域特性等を考慮した航空需要予測手法の開発と実施（国）

## 近隣空港との連携方策の検討

空港連携に関する国内外の事例等を収集・整理するとともに、北部九州圏域における福岡空港及びその近隣空港の利用状況や運航特性及び圏域内の社会経済動向等を踏まえ、福岡空港と近隣空港との連携についての基本的な枠組み及びその連携方策のあり方を検討する。

- ・近隣空港との連携に向けた基本的枠組みの検討（国）
- ・空港連携に関する事例等の収集・整理（地域）
- ・近隣空港との連携方策の検討（国・地域）

### 現空港における滑走路増設の検討

現空港の有効活用方策の検討や将来の航空需要の予測、地域と福岡空港の将来像を踏まえ、抜本的な空港能力向上方策として現空港の滑走路増設の検討を行う。

空港機能、規模等の計画要件の検討を行い、増設の検討に必要な周辺の土地利用状況等の資料を整理・分析しつつ、周辺地域への影響や効果を検討し、現空港における滑走路の増設を検討する。

- ・滑走路増設に係わる空港の計画要件の検討（国）
- ・滑走路増設の資料収集・整理（地域）
- ・滑走路増設に伴う影響と効果の検討（地域）
- ・現空港における滑走路増設の検討（国）

### 新空港の検討

他の対応方策の検討や将来の航空需要の予測、地域と福岡空港の将来像を考慮しつつ、福岡空港の抜本的な能力向上方策として新空港の検討を行う。空港機能、規模等の計画要件の検討を行い、既存資料等を活用して空港立地の考え方を整理し、新空港の検討を行う。併せて、現空港用地の開発計画のあり方も検討する。

- ・空港の計画要件の検討（国）
- ・空港立地の考え方の整理（地域）
- ・現空港用地の開発計画の検討（地域）
- ・新空港の検討（国）

## 福岡空港の総合的な調査

区分	国	地域
滑走路増設をしない場合の現空港の能力の見極め	航空利用者の視点に立った航空サービスの評価基準の検討	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空港能力の考え方の整理</li> <li>・航空サービスに係る指標及び評価方法の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・航空サービスの現状及び利用者ニーズの把握( )</li> </ul>
	現空港の有効活用方策の検討	
将来需要への対応方策の検討	地域から見た福岡空港の役割と効果に関する検討	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要地域拠点空港の役割と効果の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・航空の利用特性の把握( )</li> <li>・空港の社会経済的役割と効果及び将来像の検討</li> </ul>
	将来の航空需要の予測	
将来需要への対応方策の検討	近隣空港との連携方策の検討	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・航空需要の分析</li> <li>・地域特性等を考慮した航空需要予測手法の開発と実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・航空利用者等の現状・動向等地域特性の整理 ( を活用)</li> </ul>
	現空港における滑走路増設の検討	
将来需要への対応方策の検討	新空港の検討	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滑走路増設に係る空港の計画要件の検討</li> <li>・現空港における滑走路増設の検討 ~</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空港連携に関する事例等の収集・整理</li> <li>・近隣空港との連携方策の検討 ~</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滑走路増設の資料収集・整理</li> <li>・滑走路増設に伴う影響と効果の検討 ~</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空港立地の考え方の整理</li> <li>・新空港に係る基礎検討 ~</li> <li>・現空港用地の開発計画の検討 ~</li> </ul>
と り ま と め		



# 福岡県

## だより

通巻44号/平成16年11月1日発行  
発行/福岡県総務部県民情報広域課  
印刷/大成印刷株式会社

### みんなで考えよう 福岡空港

パブリック・インボルブメントに幅広い参加を



福岡空港は、国や地域にとって重要な役割を果たしており、皆さんの暮らしにも大きな影響を与えています。そのため、福岡空港の将来の混雑問題などさまざまな課題について、国、福岡県、福岡市が協力して、福岡空港の「総合的な調査」を平成15年度から実施しています。

この「総合的な調査」では、皆さんに積極的に情報を提供し、ご意見をいただきながら検討を進めていく方法であるパブリック・インボルブメント(P.I.)を導入することとし、このたび、その基本的な方針を定めた「福岡空港の総合的な調査に係る情報提供及び意見収集のあり方」(P.I.計画)を取りまとめました。今後実施するこのP.I.にできるだけ多くの方に積極的に参加してもらい、幅広くご意見をいただきたいと思います。

皆さんの参加をぜひお願いします。



福岡空港の「総合的な調査」って何？

福岡空港の将来の混雑問題などさまざまな課題について、今の空港でどれくらい対応できるのか、将来何か対策が必要となるのかなど、幅広く調査し、必要な対応案を考えます。

「今の滑走路一本でどれくらい活用できるのか」

「近隣の空港を活用できないか」

「今の空港で滑走路を一本増やせないか」

「新しい空港を作って対応するか」など

※「総合的な調査」で選ばれた対応案は、その後「具体的な計画」などが検討され、実施されます。

一般的な空港計画検討の流れ



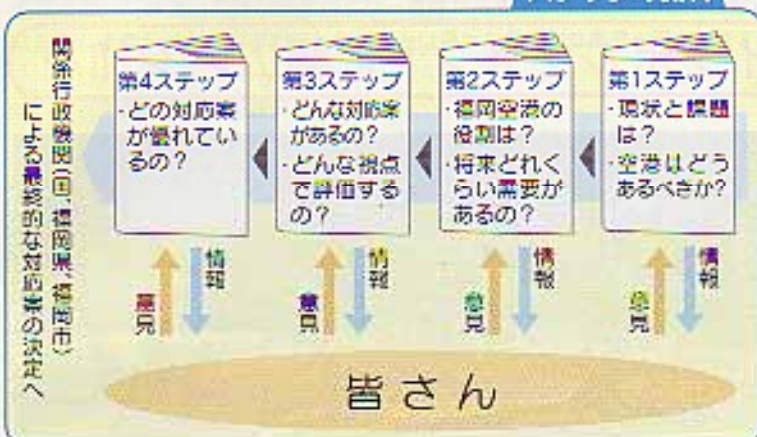
検討はどのように進められるの？

●順々に段階を踏んで検討を進め、各段階ごとにPIを行います。

皆さんにとって分かりやすく、また多くのご意見をいただけるように、4つのステップを踏んで課題や解決方法の検討を行ない、そのステップごとにPIを行います。

それぞれのステップにおいて、皆さんに提供される情報が行き渡り、皆さんからの意見が十分に把握できたと判断される段階で、次のステップに進んでいきます。

ステップの流れ



十分なPIを行うとともに、適切な時間管理を行います。

PIにおいては、その目的に照らして幅広い情報提供、十分な意見収集を行うことは当然ですが、一方で、迅速な情報提供、意見収集、時機を逸しない判断など、適切な時間管理を行います。

どこがどんな役割で進めるの？

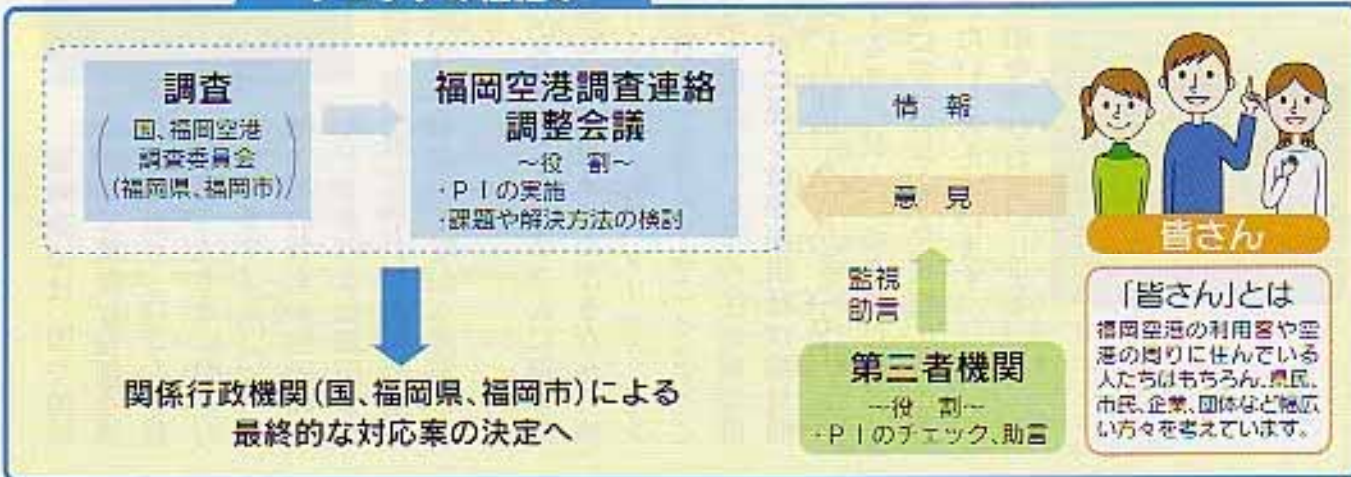
国、福岡県、福岡市は、総合的な調査を進めるため、共同で「福岡空港調査連絡調整会議」を作っています。この会議が窓口となって、皆さんに分かりやすく情報を提供し、意見をいただくこととなります。



離陸する飛行機の後方に着陸機が迫る... 別案に離着陸が繰り返される福岡空港

皆さんにお知らせする情報(調査結果など)は、国と「福岡空港調査委員会」(福岡県、福岡市が共同で設置)が協力して作っていきます。また、情報提供、意見収集が、十分

PIの窓口とチェックの仕組み



「皆さん」とは  
福岡空港の利用客や空港の周りに住んでいる人たちはもちろん、県民、市民、企業、団体など幅広い方々を指しています。



に行われているか監視・助言するため、第三者機関も設けます。第三者機関の委員は、PIプロセス、空港、法制度、行政手続きなどに関する専門的な知識を持つ方々で構成します。



**参加方法にはどんなものがあるの？**

下の図にあるように、いろいろな方法が考えられます。

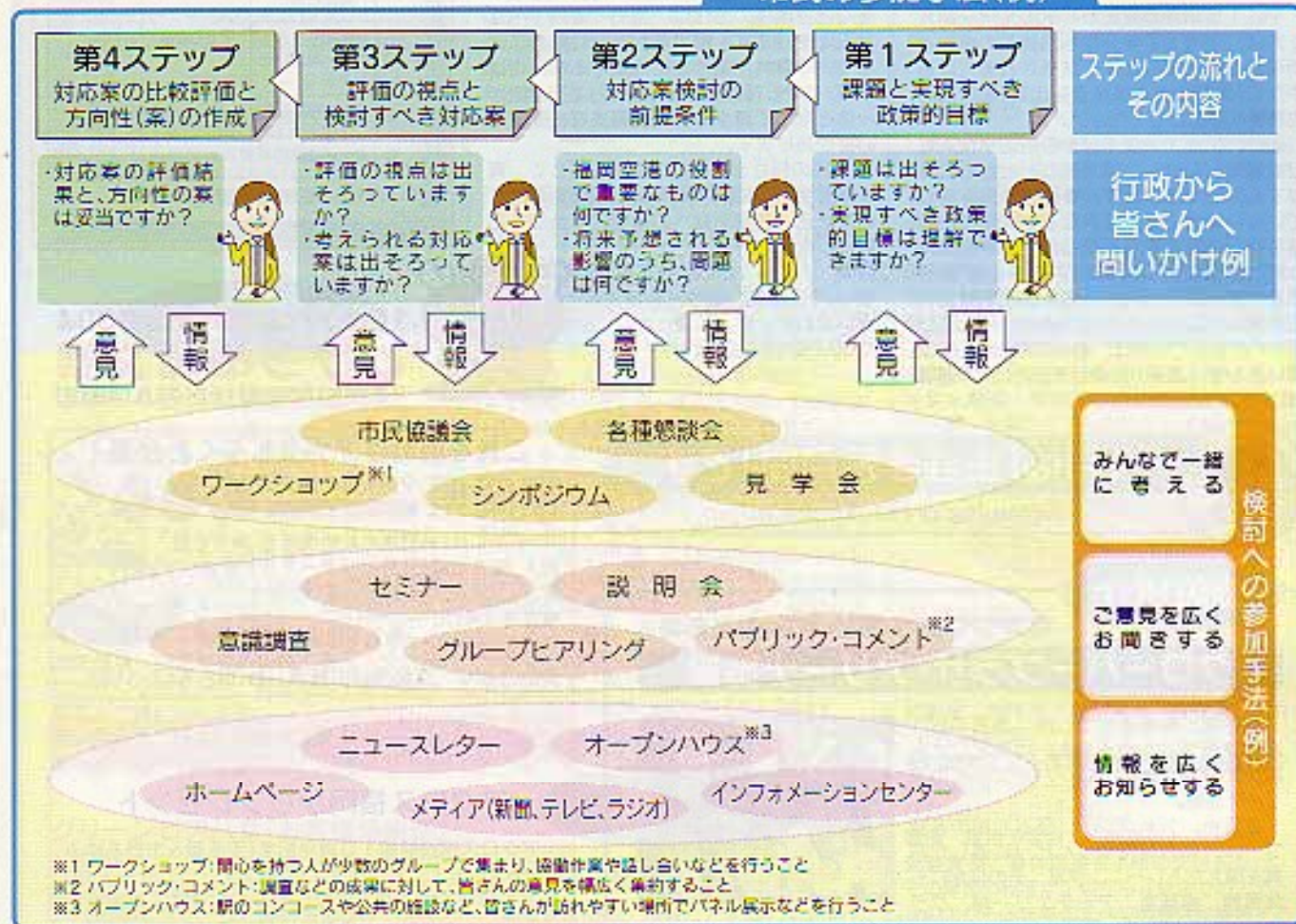
実際に行う方法や内容は、各ステップに合わせて作成するPIの実施計画で検討し、お知らせします。

**幅広い参加を！**

現在、第1ステップの実施計画を作成中です。それに基つき、来年度には第1ステップ「課題と実現すべき政策的目標」のPI実施を予定しています。

皆さんの積極的な参加をぜひお願いします。

**各ステップでの市民の参加手法(例)**



**福岡空港調査連絡調整会議ニュースをお送りします**

福岡空港調査連絡調整会議では、福岡空港の総合的な調査に関する情報を福岡空港調査連絡調整会議ニュースとして、希望される方にお送りします(年3回程度、無料)。たくさんのお申込みをお待ちしています。

希望される方は、1の記入事項を明記して、2のいずれかの方法でお申込みください。 ※様式は任意です。

**1. 記入事項**

お名前、郵便番号、ご住所、ご希望の方法(郵送、ファクス、Eメール)。ファクス、Eメールでの送付希望の場合は、ファクス番号もしくはEメールアドレスをお書きください。なお、差支えなければ、生年月日、性別、職業もお書きください。

**2. 申込方法**

- ① 郵送(住所不要。郵便番号とあて名を書きだけで届きます。)  
(福岡県)〒812-8577 空港計画課 空港PI担当 あて (福岡市)〒810-8620 総務企画局 空港推進担当 あて
- ② ファクス (福岡県)092-643-3217 (福岡市)092-733-5582
- ③ Eメール (福岡県)kuko2@pref.fukuoka.lg.jp (福岡市)kukosuishin.GAPB@city.fukuoka.jp

**福岡空港調査連絡調整会議** (大阪航空局・九州地方整備局・福岡県・福岡市)

福岡県 空港対策局 空港計画課  
 〒812-8577 福岡市博多区東公園7番7号  
 ☎092-643-3216 Eメール:kuko2@pref.fukuoka.lg.jp

福岡市 総務企画局 空港推進担当  
 〒810-8620 福岡市中央区天神1丁目8番1号  
 ☎092-711-4093 Eメール:kukosuishin.GAPB@city.fukuoka.jp



福岡市をはじめ九州・山口に亘る重要な離島空港



福岡空港の将来のあり方について総合的な調査

## 幅広い市民参加に向けて パブリック・インボルブメントを導入します

### 福岡空港の総合的な調査

を連携して進めている国・福岡県・福岡市では、市民の皆さんに積極的に情報を提供し、意見を出力していただく「パブリック・インボルブメント(P-I)」を導入し、よりよい施策の方向性を見つけていく考えです。

#### P-Iとは

P-Iは、行政が計画を策定する過程の段階で積極的に情報を提供していくとともに、市民の皆さんが意見を表明できる場を設け、その意見を計画に反映させて行く方法です。

#### P-Iの進め方

(P-I計画)については、専ら

家による検討や皆さんの募集した意見も踏まえ、今年六月にとりまとめました。

#### P-Iの進め方

P-Iは、国・福岡県・福岡市で構成される「福岡空港調査連絡調整会議」が窓口となって、国や福岡空港調査委員会が行う調査内容などの情報を提供し、それに対する市民の皆さんからの意見収集を行います。

#### P-Iへの参加方法

P-Iの各ステップにおける検討テーマと皆さんの参加方法については、そのつど分かりやすくお知らせします。

#### 福岡空港の総合的な調査

我が国の拠点空港の二

#### (P-I計画のポイント)

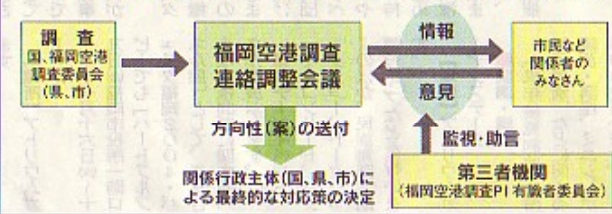
##### ① P-Iのステップ

4つのステップを踏んで検討を進め、方向性(案)を作成していきます。

- ステップ1** 課題と実現すべき政策的目標  
・福岡空港の現状と課題、空港能力の見極め、空港利用者の視点に立った航空サービスの評価基準などについて検討。
- ステップ2** 対応策検討の前提条件  
・航空需要の将来予測、地域の将来像と福岡空港の役割について検討。
- ステップ3** 評価の視点と検討すべき対応策  
・検討すべき対応策と対応策を評価する視点を検討。
- ステップ4** 対応策の比較評価と方向性(案)  
・評価の視点に基づき対応策の比較評価と方向性(案)を作成。

##### ② P-Iの実施体制

【役割】福岡空港調査連絡調整会議：P-Iを実施し、方向性(案)を作成します。  
国、福岡空港調査委員会：各種調査を実施します。  
第三者機関(福岡空港調査P-I有識者委員会)：P-Iに対する監視と助言を行います。



#### 福岡空港調査連絡調整会議ニュースをお送りします

福岡空港調査連絡調整会議では、福岡空港の総合的な調査に関する情報を「福岡空港調査連絡調整会議ニュース」として、希望される人に無料でお送りいたします(年3回程度)。

- 〈申し込み方法〉  
住所、氏名、ご希望の送付方法(郵送、ファクス、電子メール)を以下のあて先にお送りください(差し支えなければ、生年月日、性別、職業もお知らせください)。
- 〈あて先〉  
●千810-8620(住所不要)福岡市総務企画局空港推進担当あて FAX 733-5582  
e-メール:kukosuisin.GAPB@city.fukuoka.jp  
●または千812-8577(住所不要)福岡県空港計画課空港P-I担当あて FAX 643-3217  
e-メール:kuko2@pref.fukuoka.lg.jp

問い合わせ先  
総務企画局空港推進担当  
当(☎)711-4093  
②733-5582  
e-メール:kukosuisin.gapb@city.fukuoka.jp

福岡空港の将来を考えたP-Iに、できるだけ多くの市民の皆さんに参加していただき、幅広い意見をいただきたいと思います。皆さんの参加をお願いします。

このため、国、福岡県、福岡市が連携し、平成十五年度から「現空港の有効活用」や「近隣空港との連携」、「中長期的な観点からの新空港、新走路建設など技術的な方策」について総合的な調査を進めています。

つである福岡空港は、福岡市をはじめ九州・山口の地域の経済、文化、観光、国際交流などさまざまな面で重要な役割を担っており、福岡空港のあり方は、地域の将来を左右する重要な課題となっています。